

母さんの残業

息子の友達に狂わされてイク母親！

R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止



母さんの残業



R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

ただいまー

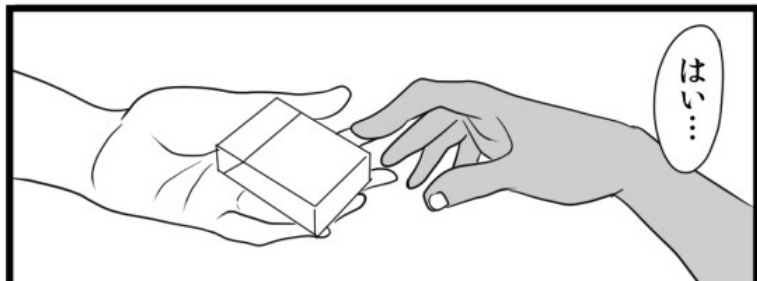
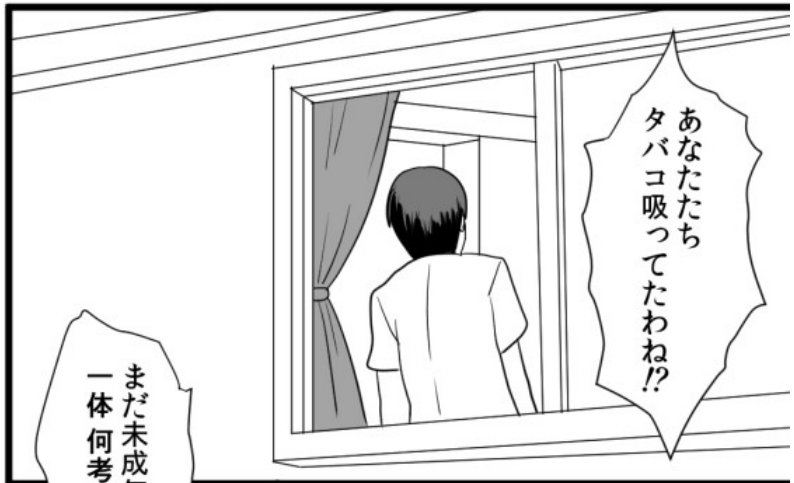
貴博
お母さん帰ったわよー

あら？
誰か来てるのかしら

やばッ！
母さん帰ってきた！
それ早く消して！

貴博？
あんた何騒いでんの？

ガキヤ





はらい
お邪魔しました〜



キミの家ではどうか
知らないけど…

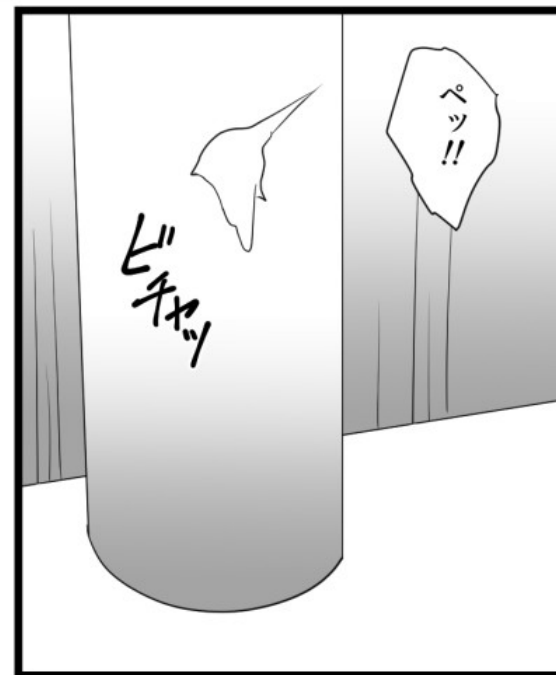
ウチで好き勝手は
許しませんからね！

分かったら
もう帰りなさい



タバコぐれえで
説教垂れやがって…

クソウゼエ…



ペツ！！

ビキヤッ



…にしても貴博の母親
エロい体してやがったな…

ああいう気の強い年増を
四つん這いにさせて
ケツ穴を拝みながら
ハメ倒すつてのも悪くねえな…



お母さん
ああいう子と付き合うの
感心しないわね

友達はやちゃんと
選ばないと
ダメじゃない

そんなことじゃ
天国のお父さんに
顔向けできないわよ

ああもう！
分かったってば！！

あん！
ちよつと...！！

ほら出てってよ！
勉強するんだから！

もう！！

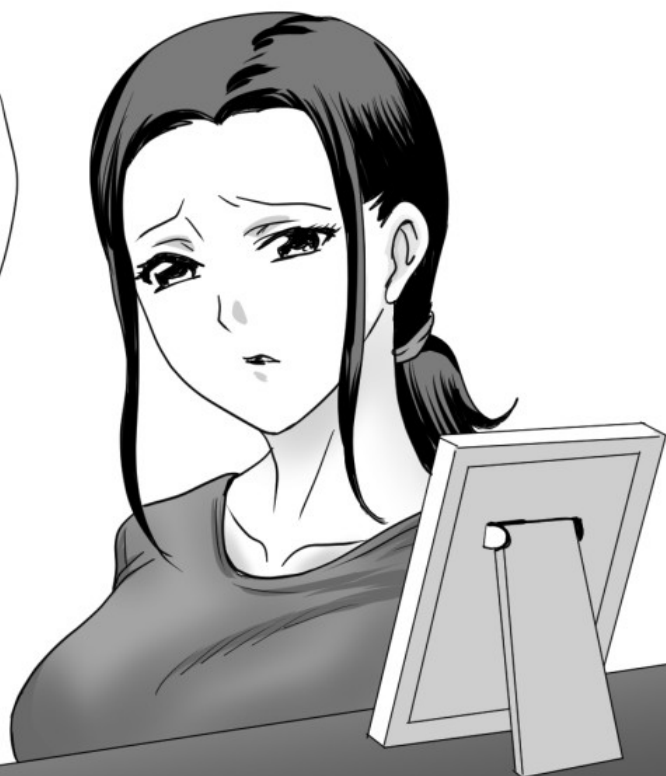
コラ！
貴博！

話はまだ
終わってないわよ！

カタッ

最近全然言うこと聞かないんだから…

やっぱり男の子には父親がいないと…

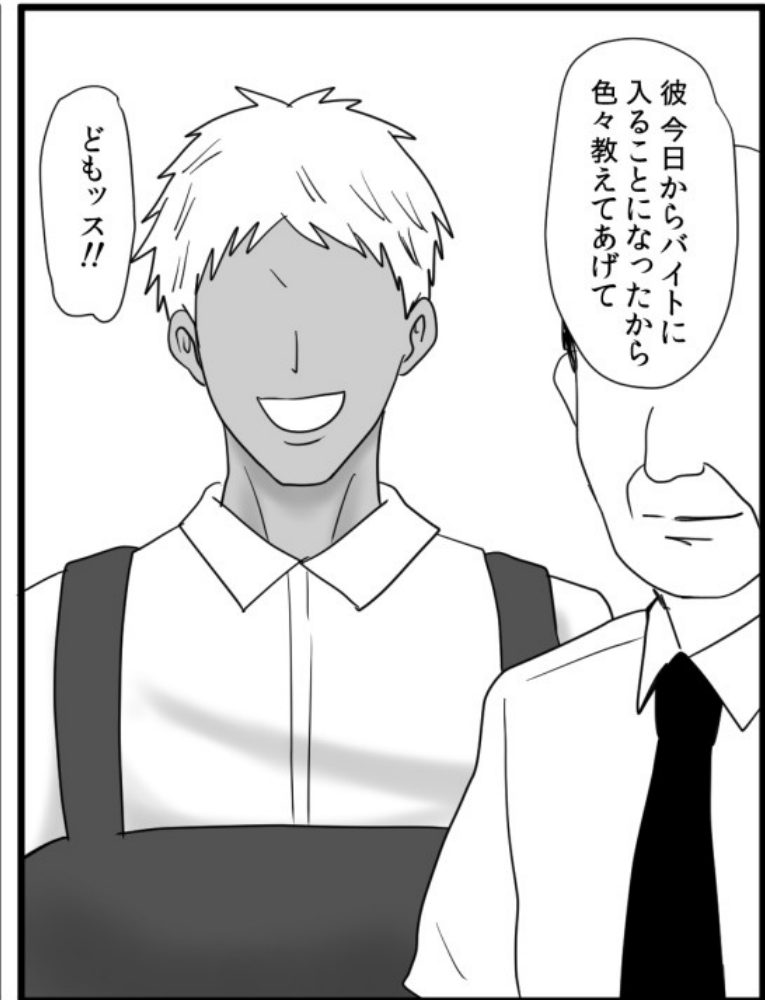


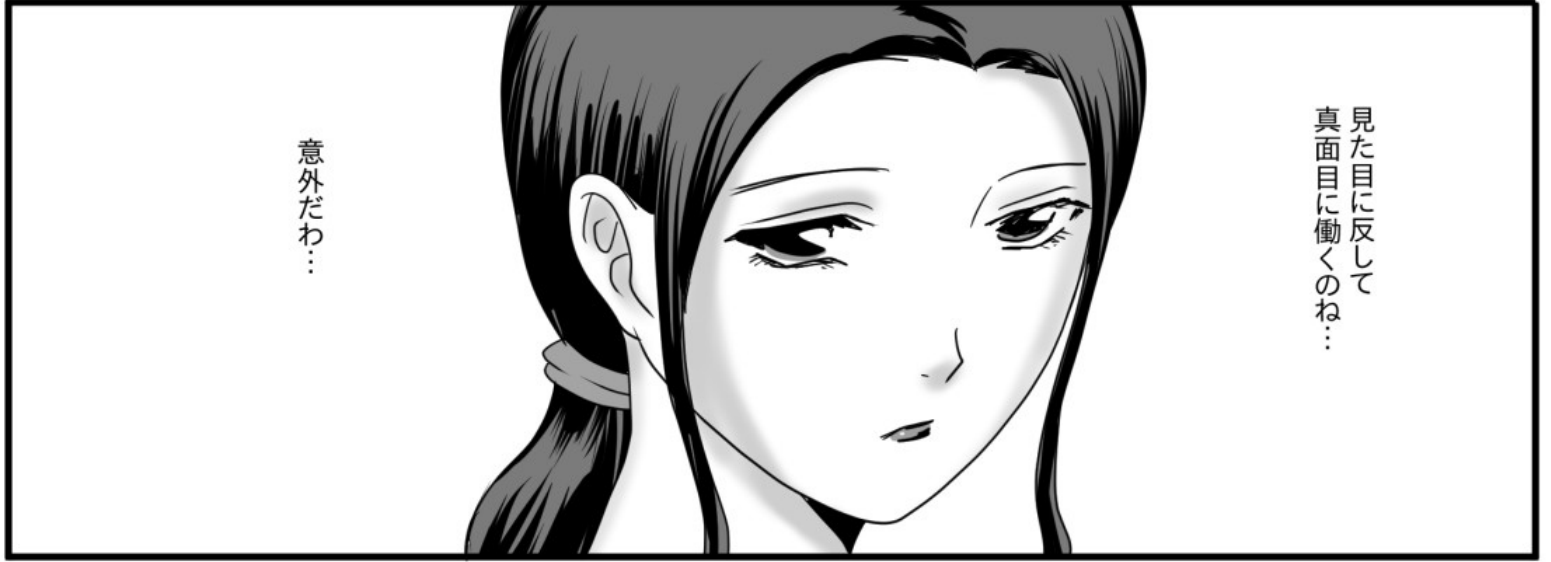
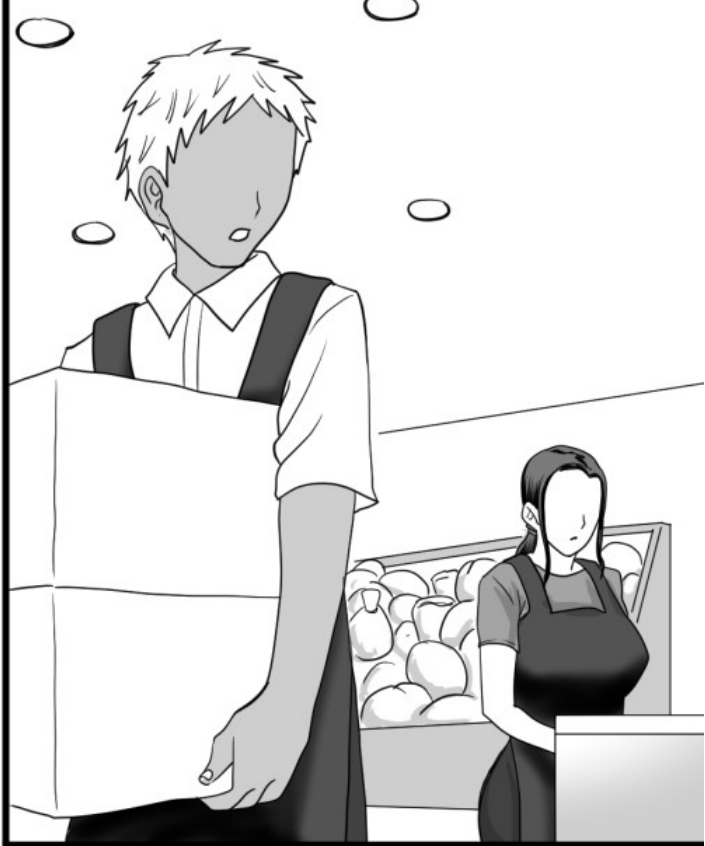
天国で見守ってて、あなた!!

貴博は私が立派に育て上げるって誓ったんだから!

ダメダメ弱気になっちゃ…







見た目に反して
真面目に働くのね...

意外だわ...



俺も不思議に思っ
たんでフツたのか聞いたら
巨乳の子が好みだからって
言っていましたね

そんな理由で？
ひどい...

ふ...ふ...ふ...?



ええッ!?
貴博が告白された!?

でも断っちゃったんですよね
けっこう可愛い子だったのに



へへ…
でも貴博が巨乳好きになったのって
絶対登喜子さんのせいですよ

なんで
私のせいなのよ



でもおっぱい星人なのは
あの人と一緒にね…

なに笑ってんですか？



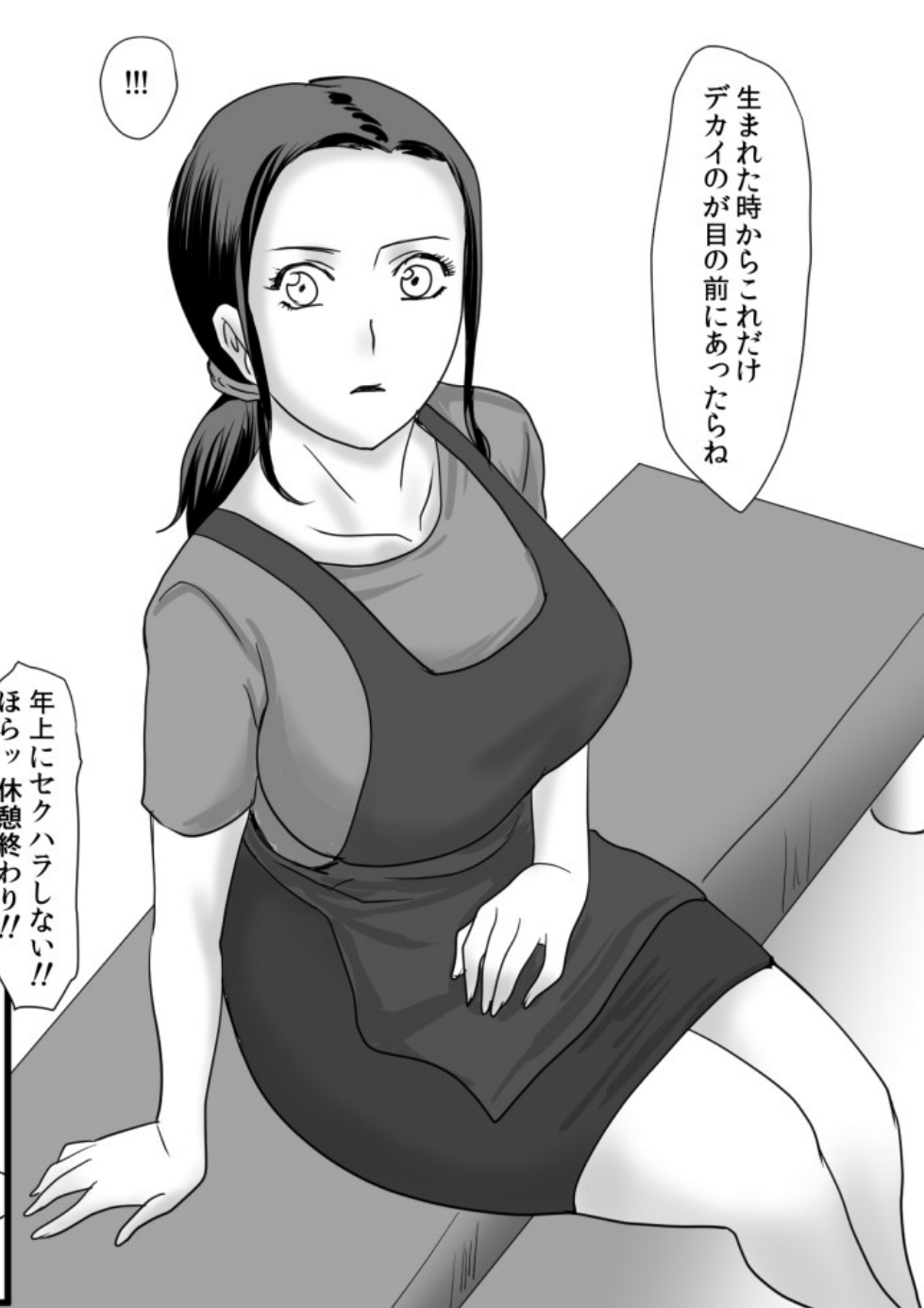
ぐわッ!!

カスッ



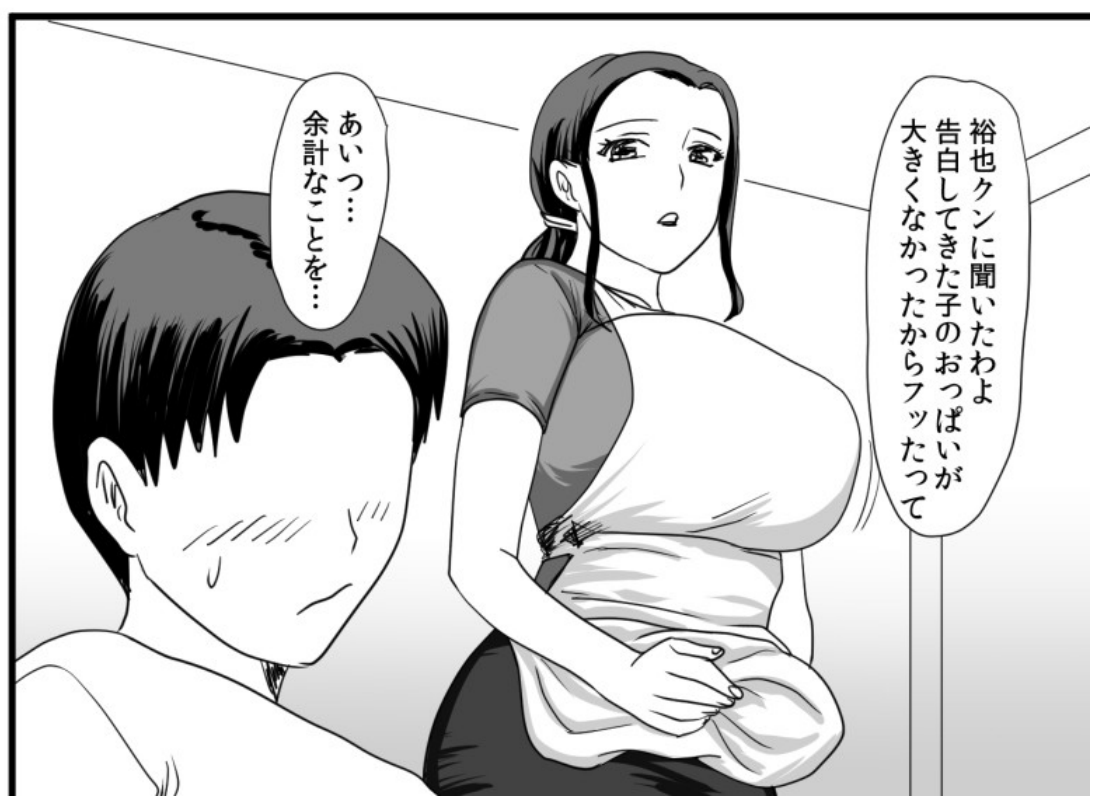
イテテッ!!
これってパワーハラだろ!!

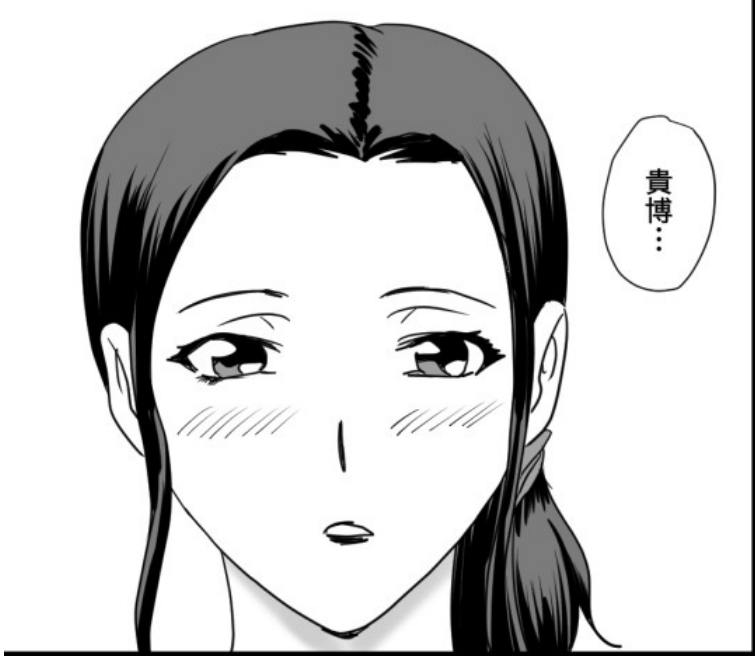
年上にセクハラしない!!
ほらッ休憩終わり!!



生まれた時からこれだけ
デカイのが目の前にあったらね

!!!





貴博…



別に胸の大きさとか
どうでもよくてさ…

僕を大学に行かせるために毎日
頑張ってる母さんを放って
彼女とか作るの
なんか違うかなって…



お母さんは貴博が
幸せになつてくれれば
それでいいんだから
変な気を遣わなくて
いいの！

だから彼女でも
何でも作りなさい



もうこの子ったら！

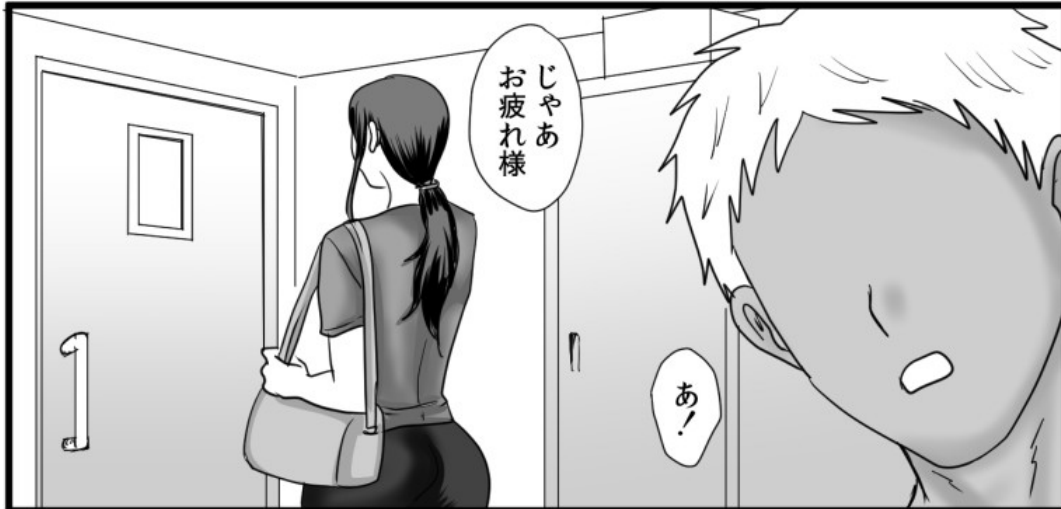
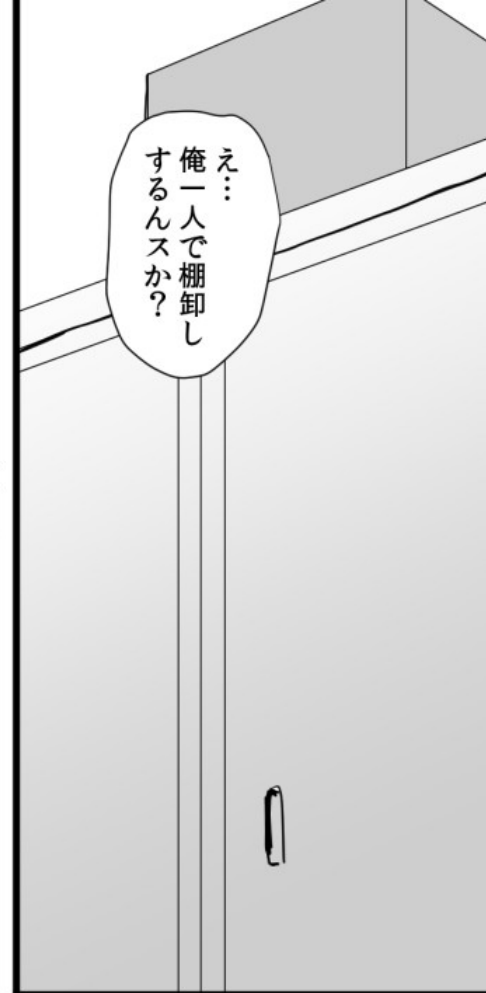
わぷッ
母さん！

ムキッ



うん…

お母さんにとって
一番大切なのは
貴博なんだから…







私は『女』だということを…



たとえ親子ほど
年が離れていても
彼は『男』で…

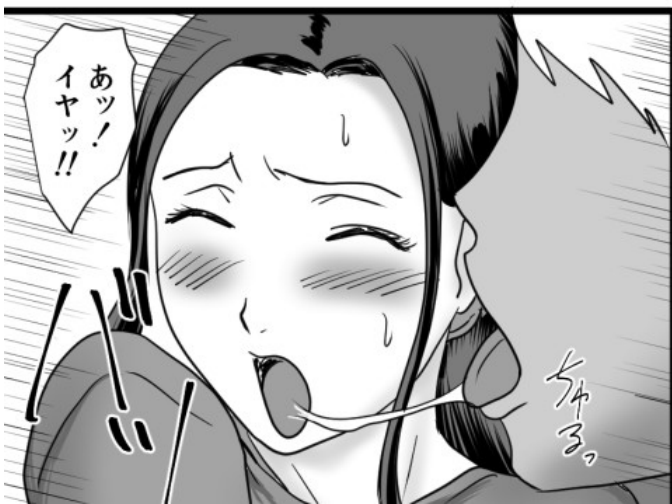
男と女が密室で二人きりになることが
どんな結果を生むのかを…



一瞬何をされたのか
分からなかった…

んっ!?

体を掴まれたと思ったら
裕也君の顔が目の前にあり
舌が口内に潜り込んでいた…



やめなさいッ!
何考えてるのッ!!

年上の女性に叱られると
スゲー燃えるタチでさ

二人きりになるの
ずっと狙ってたんだよね

ヤラせてよ

ニムルッ

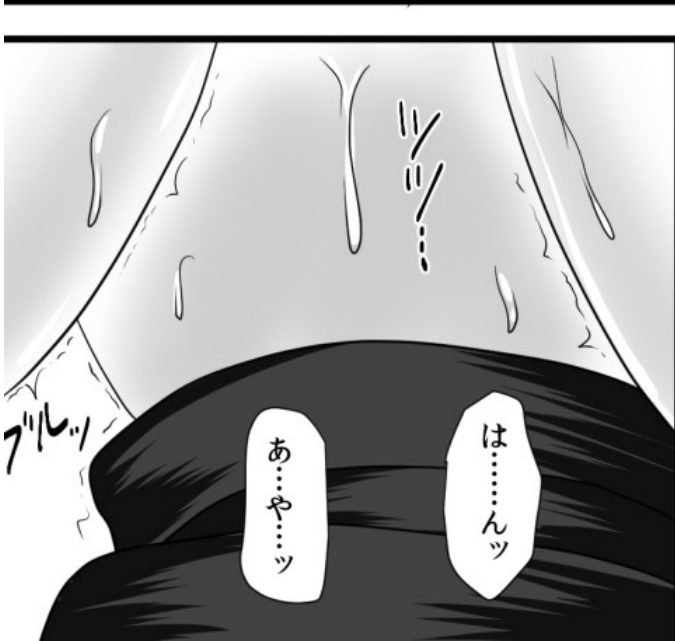
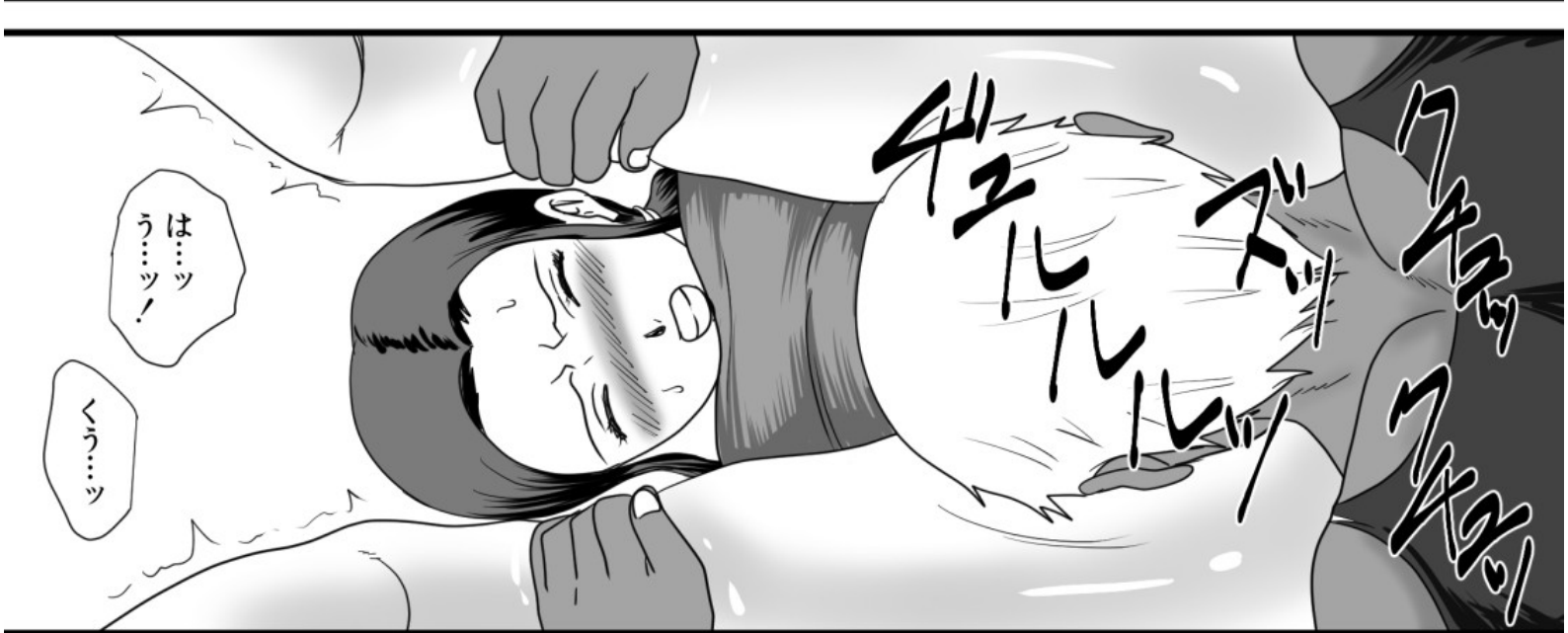
きゃあッ!!!

へえ…
登喜子さんのここって
歳の割に色も形も
綺麗じゃん

イヤアッ!!

見ないでエッ!!

くほあッ





なにがイヤだよ
こんなにクリトリス
勃起させといてよ





うはっ♪
登喜子さんの肛門
ヒクヒク動いて
すげえエロいよ

やっ!

あッ♡

聞こえる?
このスケベな音...
もうすぐ潮噴くって音だよ

何人も噴かせてるから
分かるんだよね

あッあッ♡
あッあッ♡

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ビクビク

ちやっ

かっかっ

登喜子さんも潮噴きたいんでしょ?
茶色いケツ穴が丸見えなのに
抵抗しないもんね♪

そんなこと...な...ッ
あッあッあッあッ♡



我慢することないから
思い切り噴いちゃえよ...
な?

こや...ッ

いやッ
あッ♡

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ちやっ



あッあッ♡

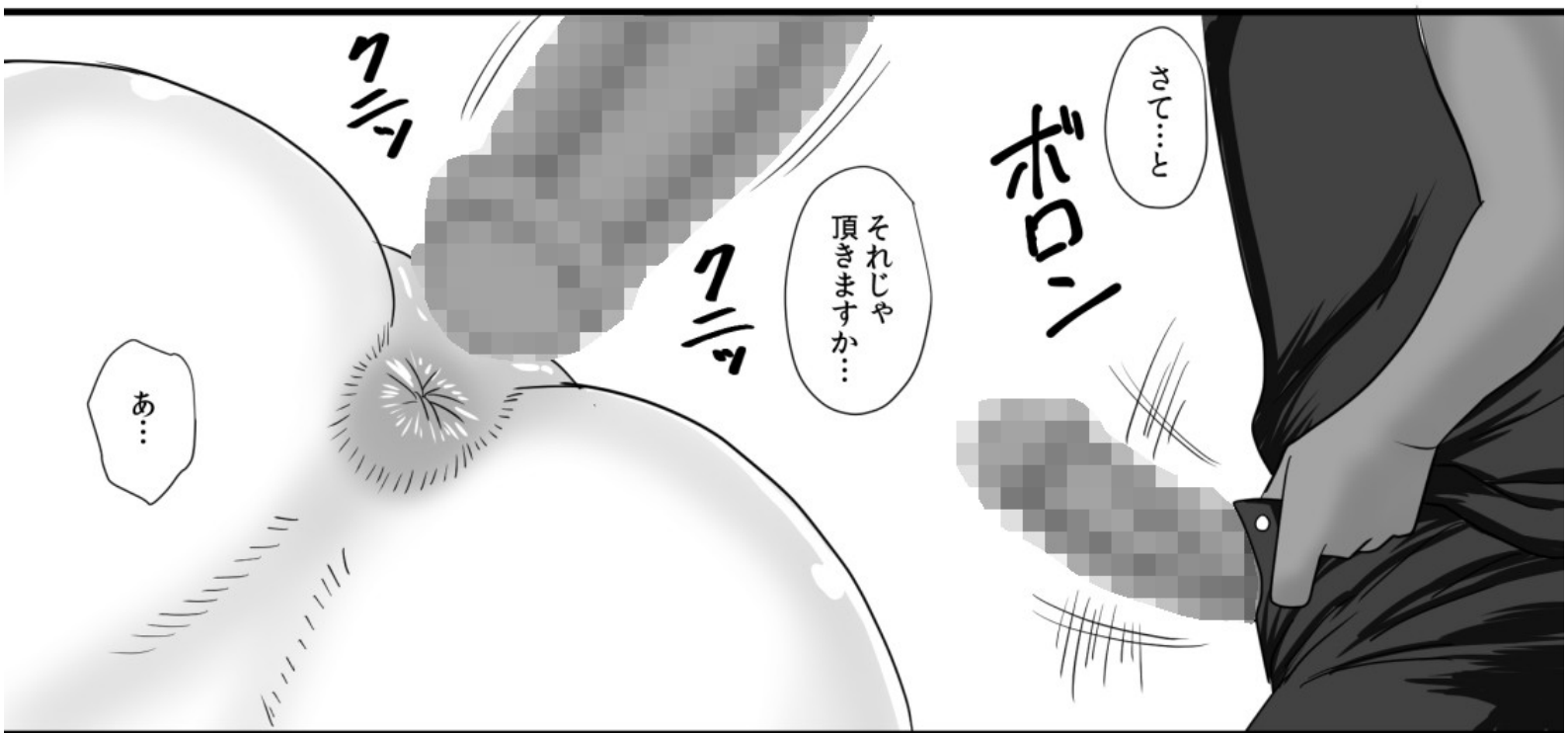
はんッ♡

ちやっ

ちやっ

ちやっ







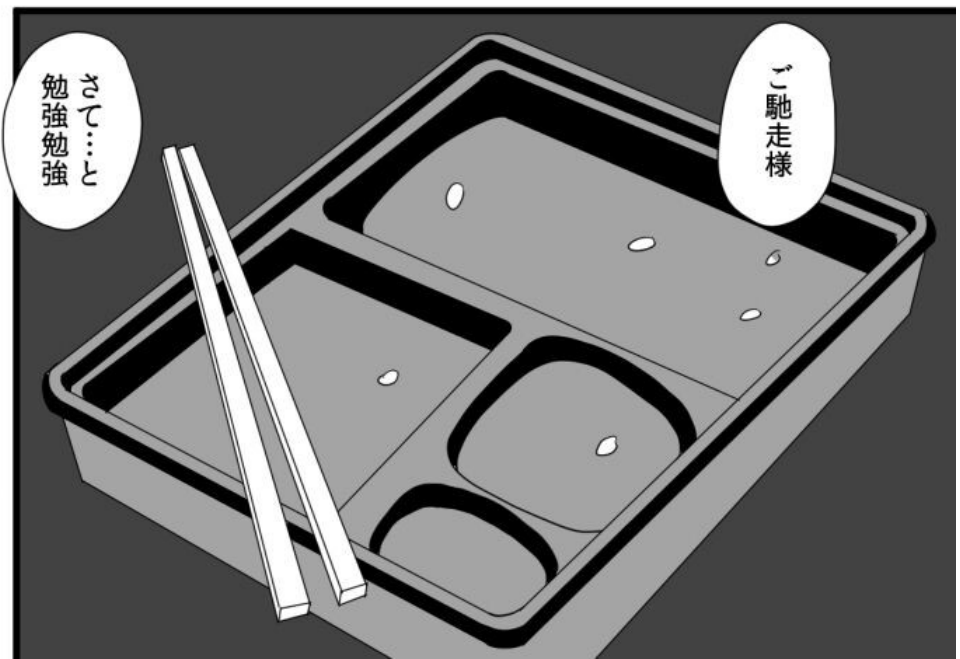
あぁ

ッ!!



母さんも
残業頑張ってるし

いい大学に入って
いい会社に就職して
母さんに楽させて
あげないと...



ご馳走様

さて...と
勉強勉強





いや… 私 犯されてる…

職場で息子の友達に… 犬みたいな恰好で犯されてる…ッ

くうッ

う…ッ

んッ

ズプッ

ガッ ガッ

ズプッ

ズプッ

ズプッ

アッ アッ



どう？ 登喜子さん 俺のチンポ 気持イイ？

君には失望したわ… 本当はマジメな イイ子だと 思ってたのに…

こんなことして タダで済むと 思わないことね…

ずいぶん手馴れてるみたいだけど 私は泣き寝入りするよな 女じゃないから…ッ

…ッ！

ズプッ

フッ

フッ



へッ

ケツの穴丸見えの
みっともない格好で
言っても迫力ねえよ

いやあッ!!

ビクッ

ムニッ

ビクッ

ムクッ

ムクッ

そんなとこ
広げて見ないでよッ!!

変態ッ!!



そんな深刻に考えずに
久しぶりのセックスを
楽しめばいいんだよ

ヌプッ

ヌプッ

ふッ

うッ

ヌプッ

んうッ

ヌプッ

ヌプッ

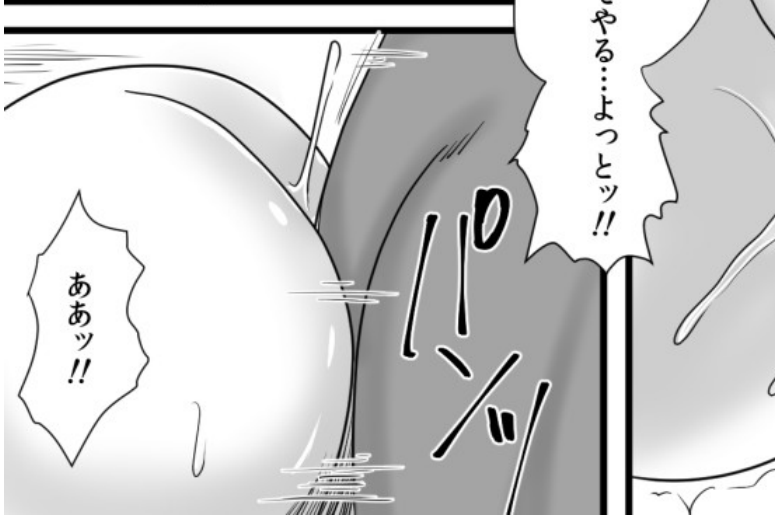
登喜子さんって堅物だから
旦那さんが亡くなってから
ずっとご無沙汰だったんでしょ?





お尻に腰を打ち付けられるたびに
室内に響き渡る
濡れた粘膜が擦れ合う卑猥な音…

それが羞恥心を煽り
さらに潤いを増してしまう…



それじゃ
そろそろ
本腰入れてやる…よつとッ!!



相手のことを少しも思いやらない
若さに任せた乱暴な挿入…

気持ちイイか
オラッ!

オラッ!

オラッ!

あッ♡

あッ♡

あッ♡

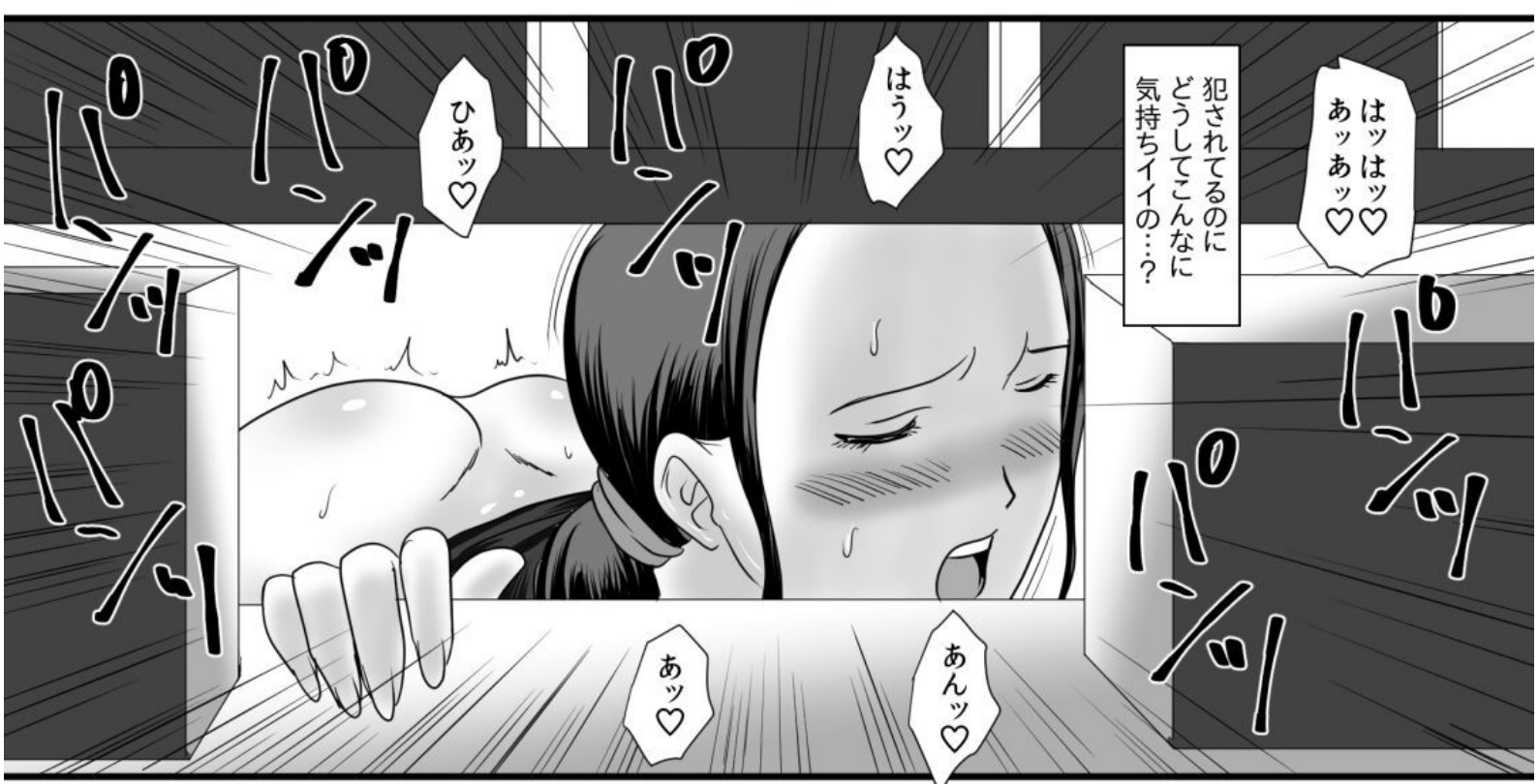
あッ♡

ヤッあッ♡

激し…イッ♡

あッ♡

それなのに
悦びの声を抑えられないなんて
自分でも信じられない…



はッはッ♡
あッあッ♡

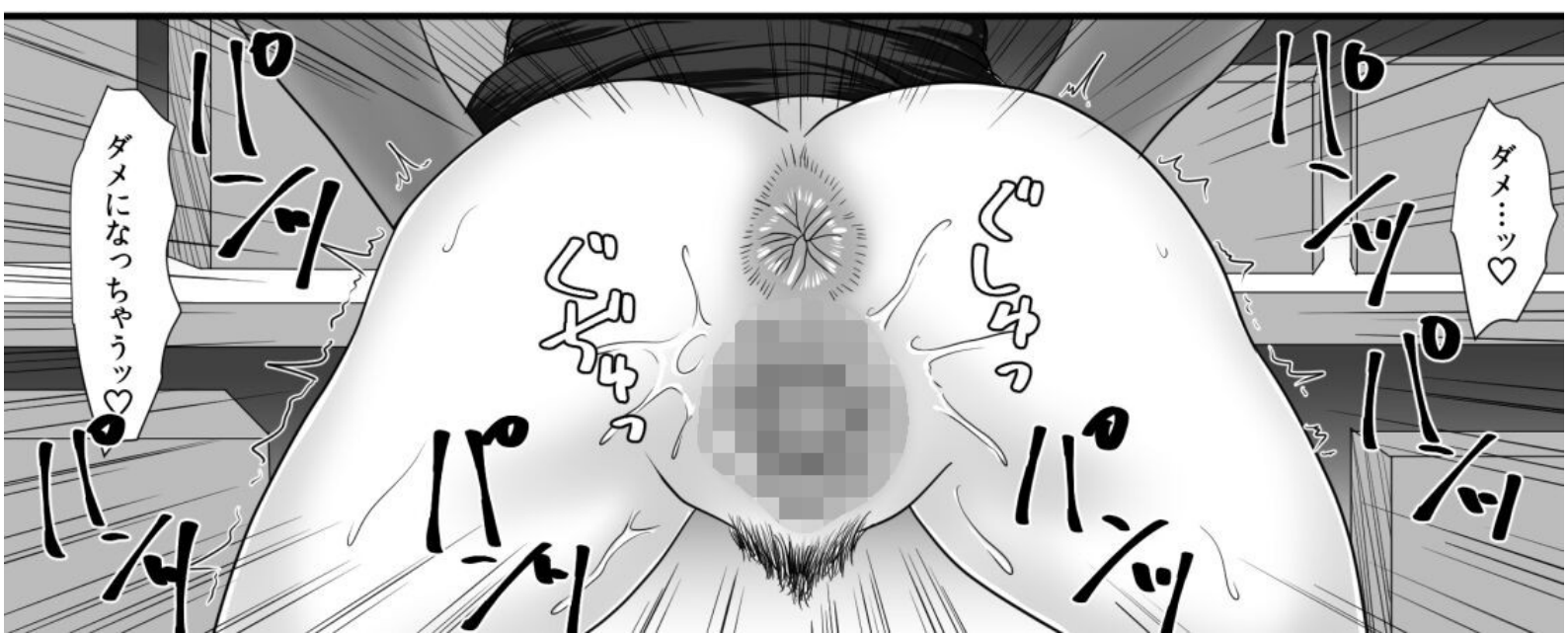
犯されてるのに
どうしてこんなに
気持ちイイの…?

はうッ♡

ひあッ♡

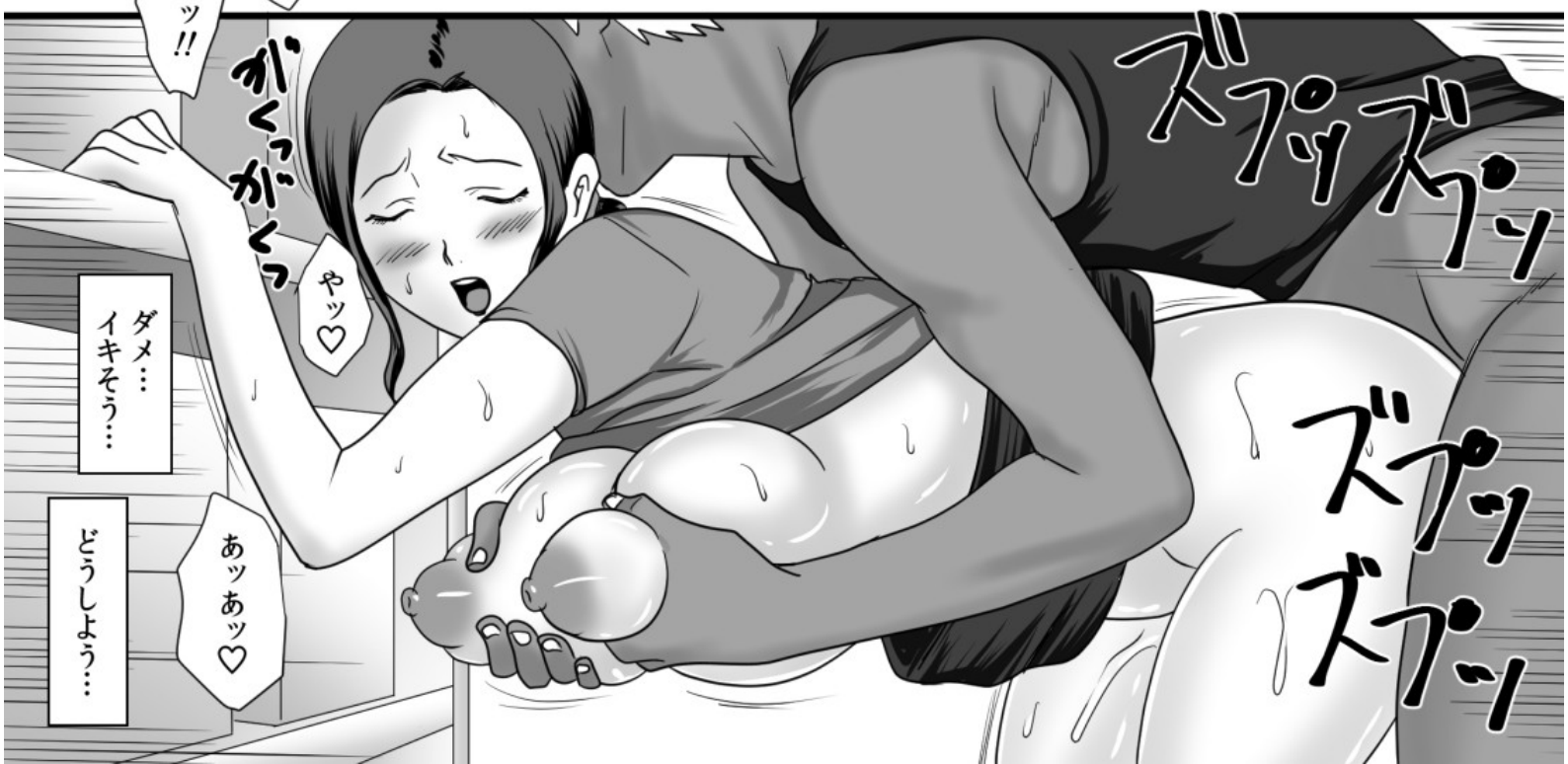
あんッ♡

あッ♡



ダメ…ッ♡

ダメになっちゃうッ♡





もうダメツ!!
イツちやう…ツ!!

イクイクツ♡♡
イクイクツ♡♡

かっ
かっ
スプツ

スプツ

ズプツ

ズプツ

ズプツ



チクパッ

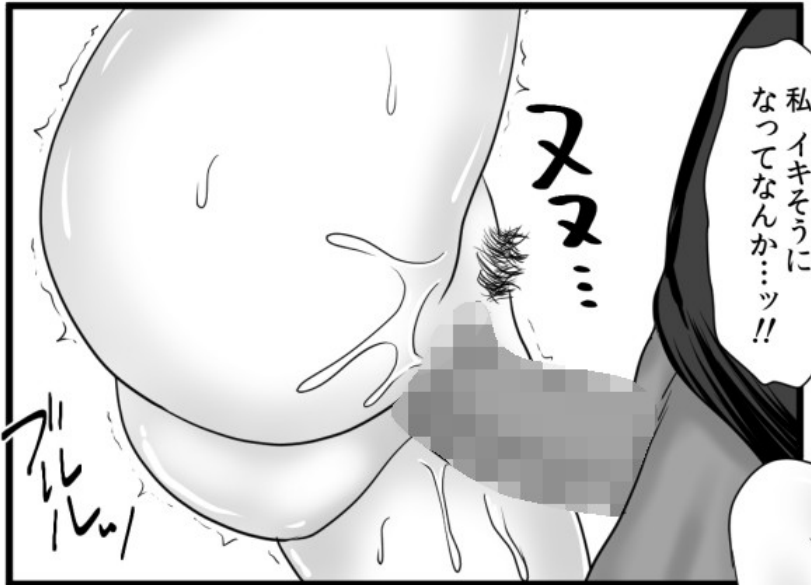
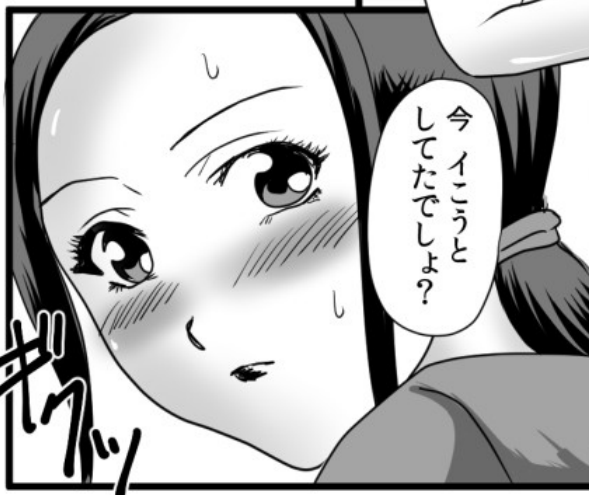
おっ…

あッ!!



んんうツ♡

ブルブル



あッあッあッ!!

ズリッ
ズリッ
ズリッ

いや...あッ!!

やっぱり女を征服する時は
イキ顔見ながらじゃないとね

ヌルッ

ズリッ

誰がケダモノのセックスで
イクもんですかッ!!

もうすぐイキそうなのは
まんこ肉の動きで
バレバレなんだからさ...

う...くうッ!

ズリッ

ズリッ

あんッ♡

ヤッ♡

ひあッ♡

ズリッ

素直に溺れなよ...

ズリッ

ズリッ

こんな恥ずかしい体位…
夫にもされたことないのに…

あッあ…♡

屈しないと強がってみても
心を裏切った体は裕也君に
しがみついたまま好き勝手な
挿入を受け入れてしまう…

あん♡

あ♡



おう♡

お♡

は…お♡

ググ



ひあッ♡

あッあッ♡

やッあッ♡

オラ!
イケオラッ!

ふッ

んッ

イキたいんだろ?
思い切りイっちゃえよ

イッたら認めちゃう!
こんな力ずくの最低なセックスを
体が肯定することになっちゃう!

んうッ

イクッ♡
イッちやうッ♡

カッ
カッ
カッ

ダメッ♡
もうダメッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

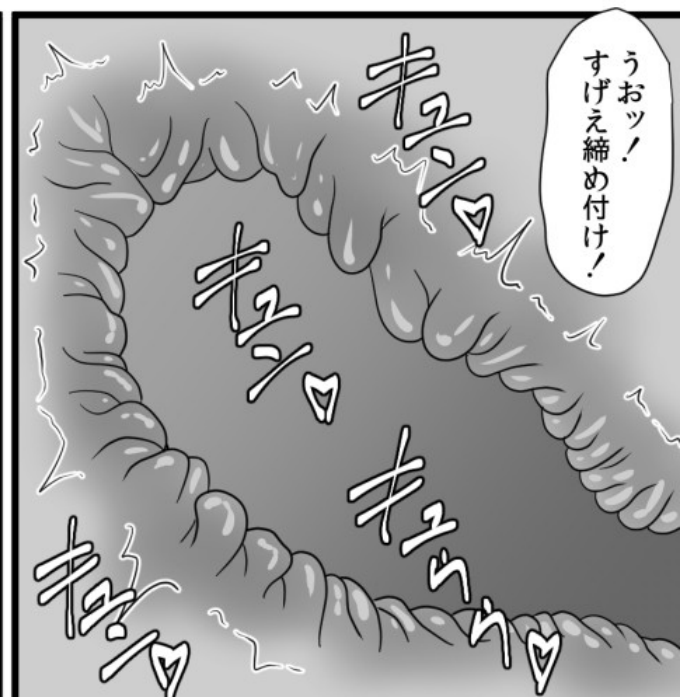
ズッ
ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ
ズッ





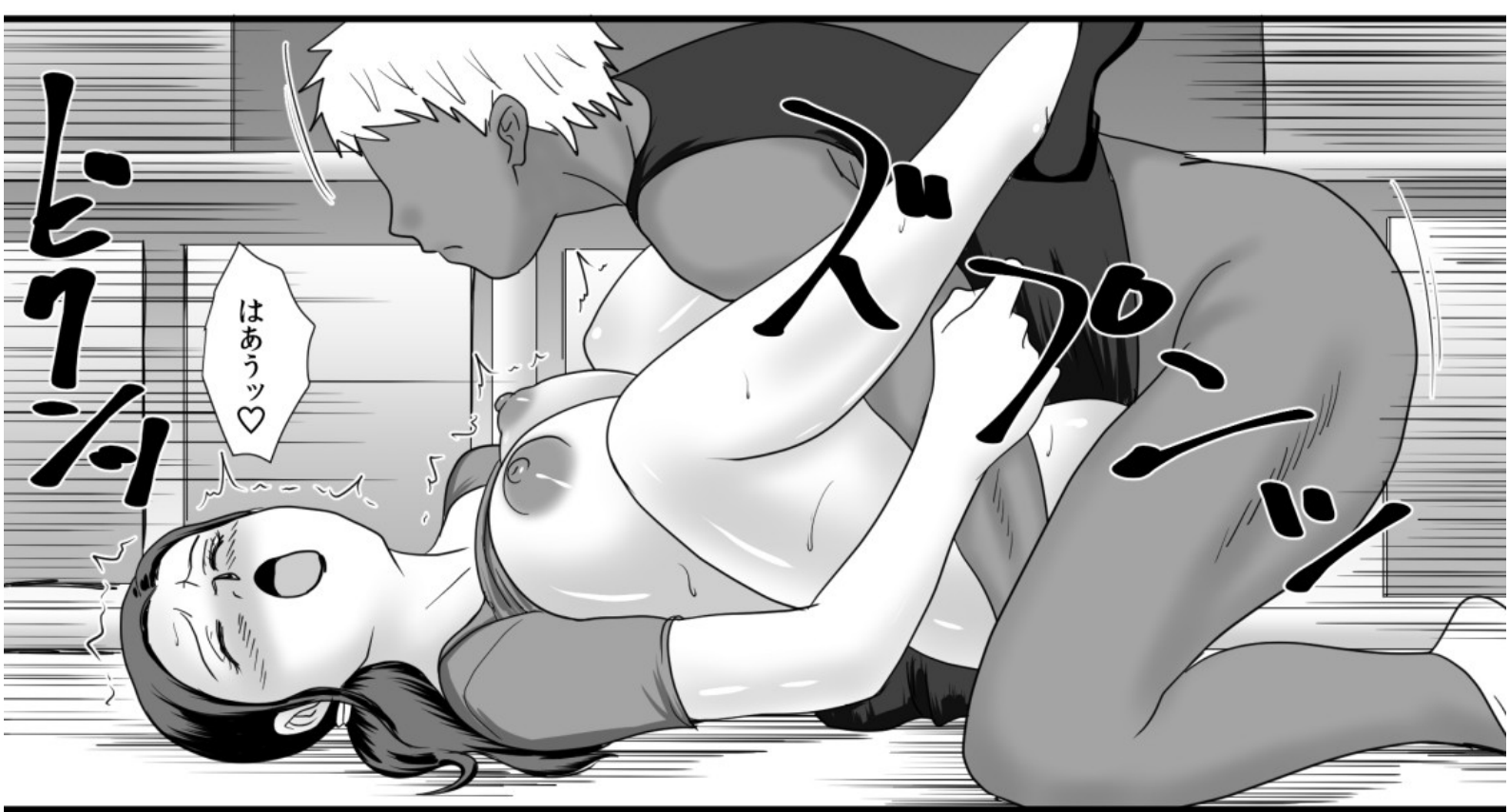
あの人を亡くしてから
もう二度と…
そう思ってたのに
こんな形で女の悦びを
味わうことになるなんて…

イッてしまった…

ブルブル

グッ

グッ



はあッ♡

トクッ

グッ



あ♡♡

あ♡♡

んうッ♡

ズッ

ズッ

ズッ

友達の母親を
女にする征服感
たまんねえ

自分の母親が友達に
おまんこ突かれて女の顔で
気持ちよがってるなんて
知ったら貴博は何て言うかな？

いやッあッ♡
そんなこと
言わないでッ♡

子宮が精液を
欲しがって
降りてきてるよ

欲しがって
なんか…♡

あッ♡

はあッ♡

ズブッ

ズブッ
ズブッ
ズブッ

ズブッ
ズブッ

ズブッ

ズブッ

ズブッ

ズブッ

ズブッ
ズブッ
ズブッ

カクッ
カクッ



じゃあ俺の
精液飲んでよ

え...
そんな...ッ



このまま膣^{なか}内に
出してもいいよね？

ダメダメッ!!
それだけは絶対に
ダメッ!!

がくがくッ

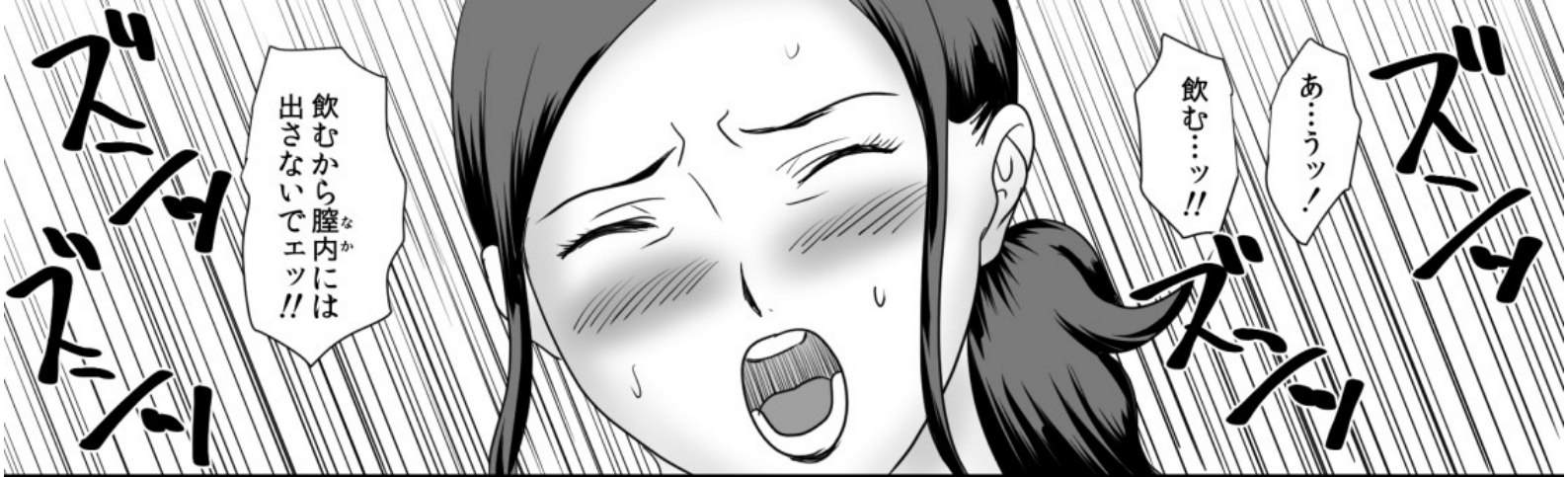


あんツ!?
だったらこのまま
下の口に
飲ませるぞオラッ!!

あッあッ!!

あひッ!!

ひああッ!!



飲むから腔内には
出さないでエツ!!

あ...うッ!
飲む...ツ!!



ズンズン

あひッ!!

ちゅぽん



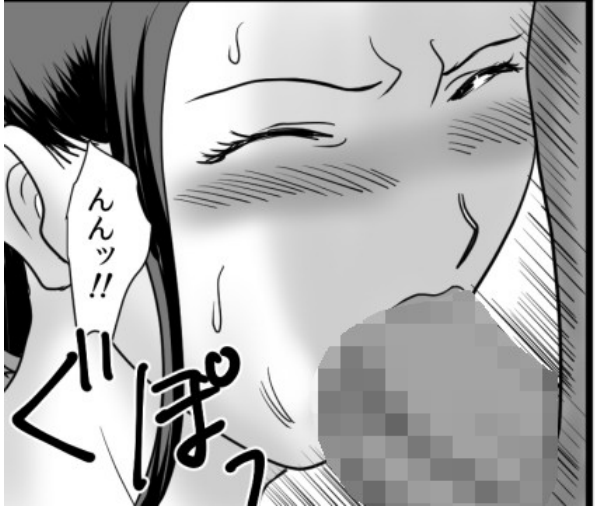
あ...やあッ!!



口開けるよオラッ

たっぷり
飲ませてやる

ぐいっ



んんッ!!

ちゅぽん

ああ
気持ち良かった♪

…って
あゝあゝ
おもしろいっちゃって…

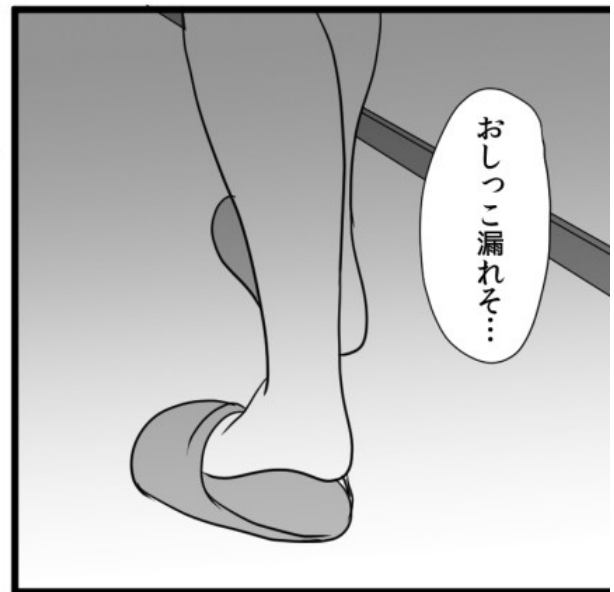


ちやんと掃除してよ
俺もう帰るから

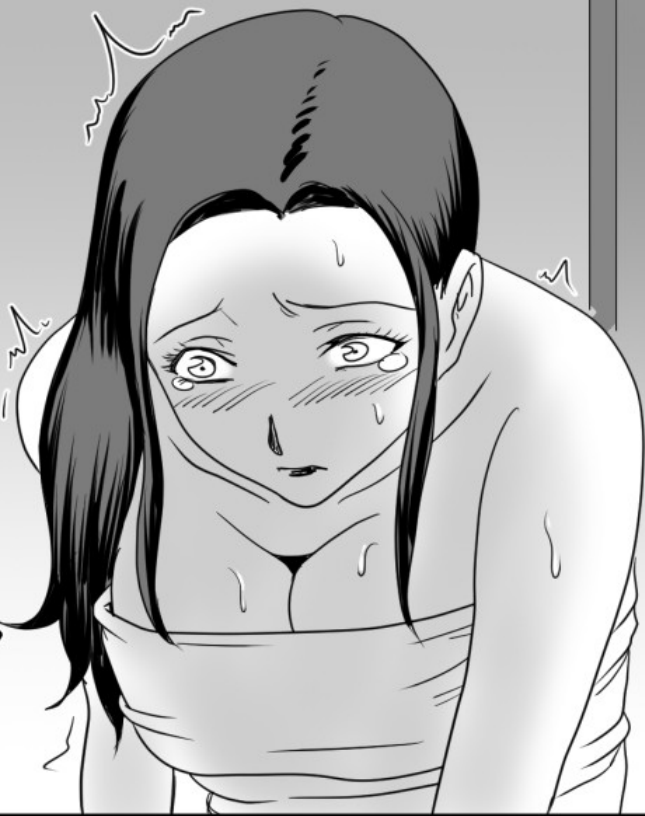
お疲れー

ジュッジュッ
ジュッジュッ
ジュッジュッ





ジュワッジュワッ



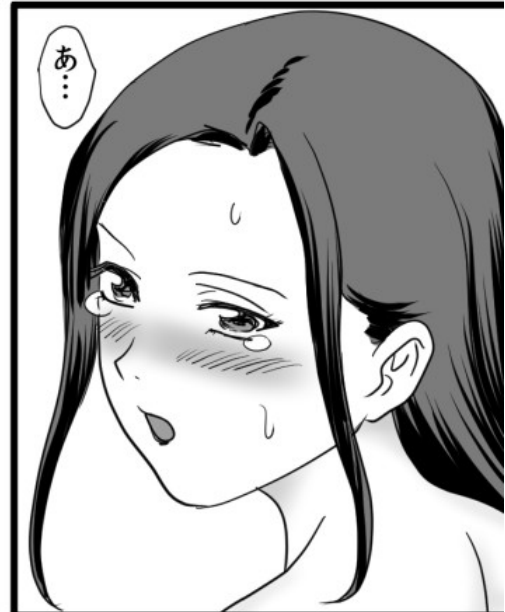
母さん…
どうしたの…?



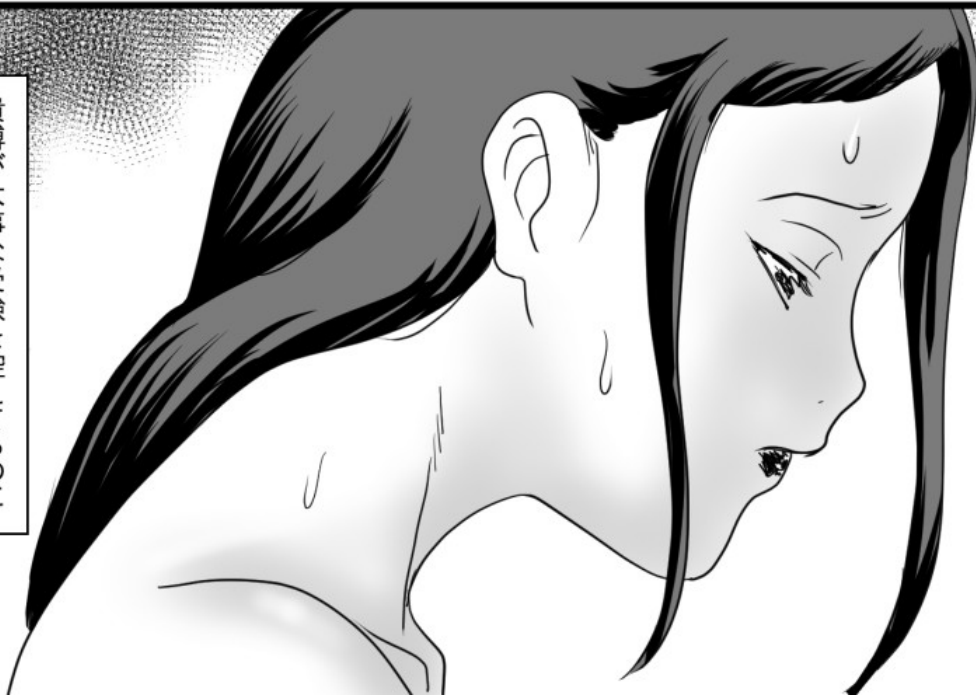
大したことじゃないの…
ちよつと仕事でミスしちゃって
怒られちゃったから…



大丈夫…?
何かあったの…?



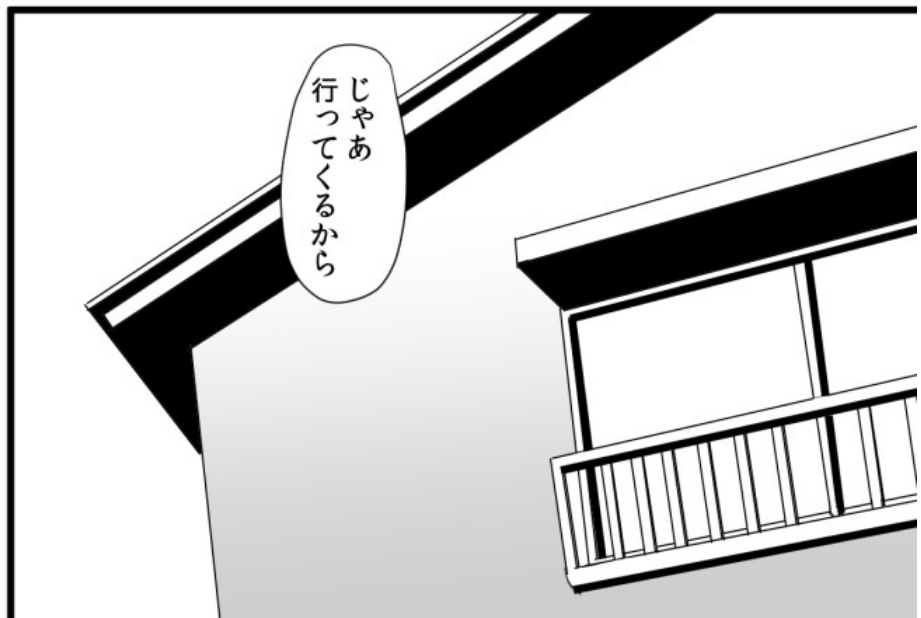
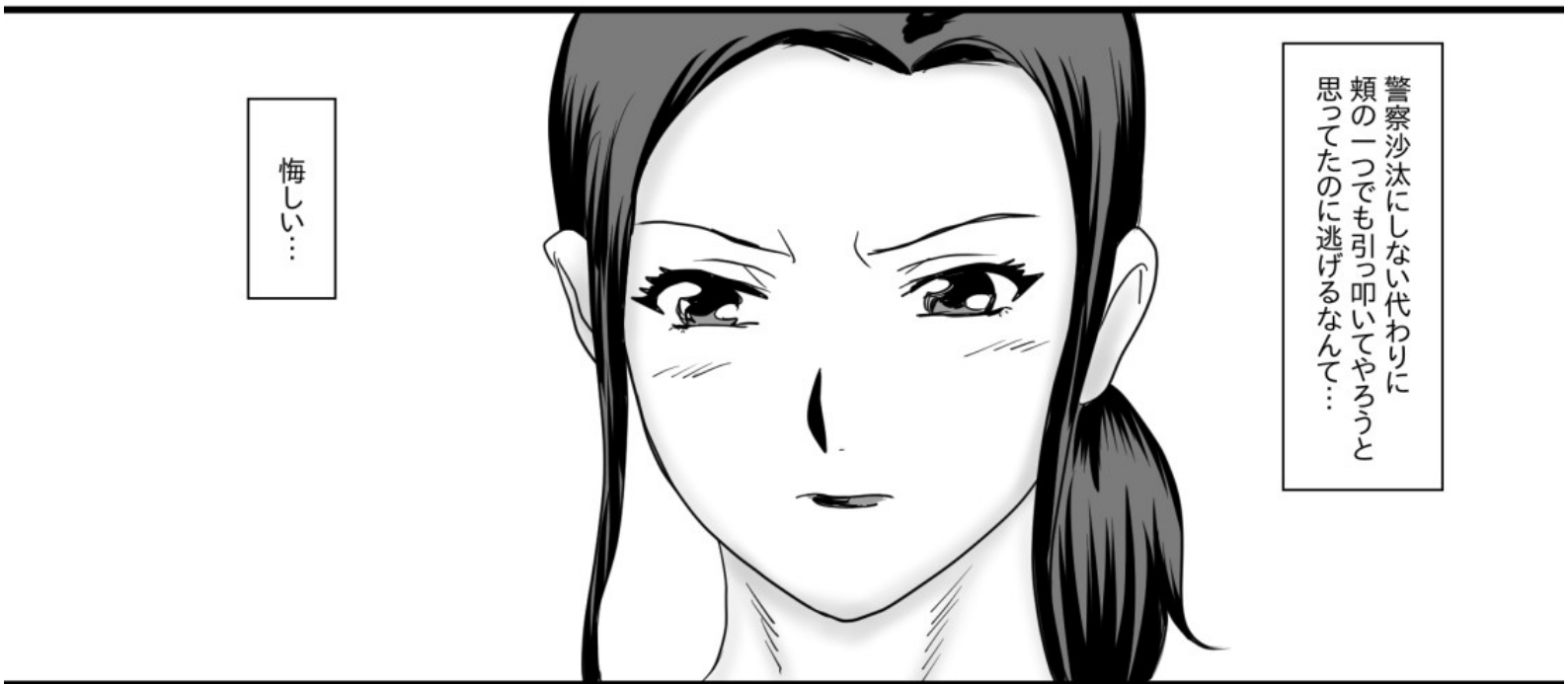
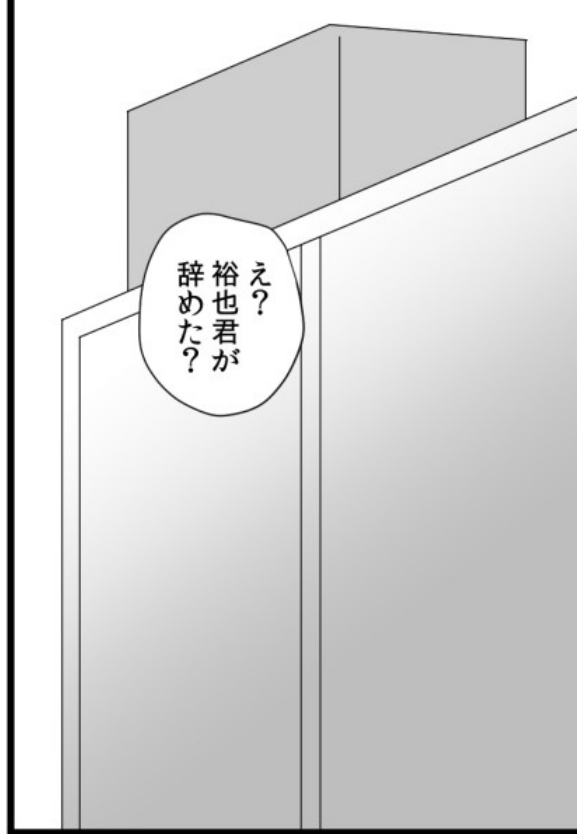
あ…

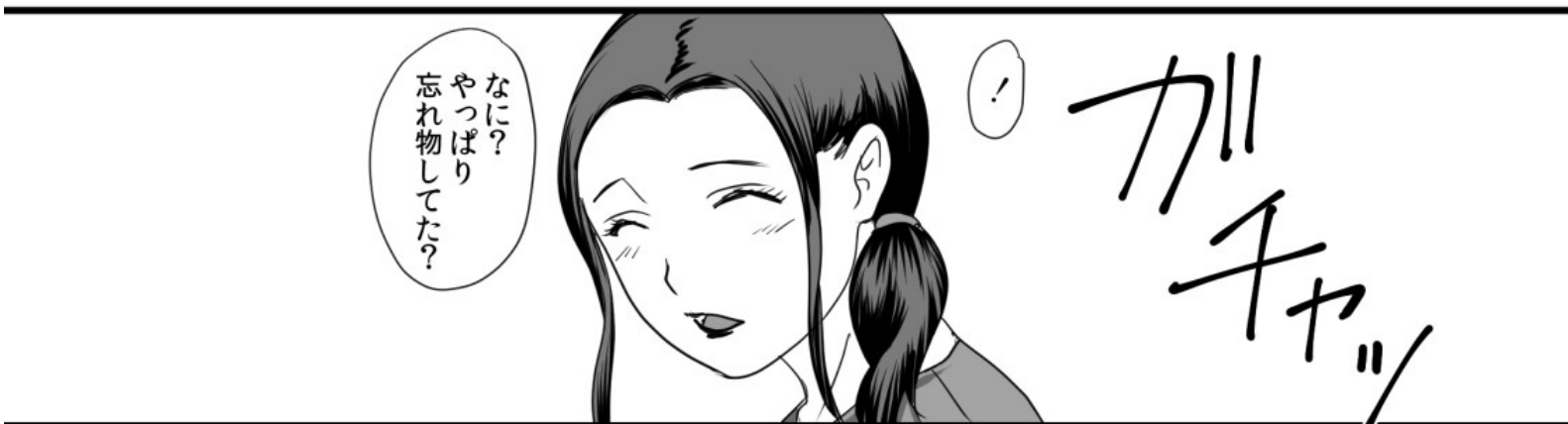


な…なんだ
ビククリさせないでよ…

貴博が大事な受験を控えるのに
友達にレイプされたなんて
言えるわけない…

悪い夢を見たと思って
忘れるしか…





待ってる間暇だから
登喜子さんが俺にイカされて
小便漏らしてる動画でも観る?



よう 登喜子さん

また遊びに来たよ

貴博とは入れ違いになったかな?
いつも図書館で3時間くらい
勉強してるんだっけ?

カチヤッ



嫌がってる割には
簡単に挿入ったね

この間のセックスで
俺のチンコの形に
馴染んでたんだな

気持ちいいでしょ？

ズッ
ズッ

はうッ！

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

あぐッ！

気持ち良くなんか
ないわよッ！！

ちんこを抜きなさいッ！！

か
か
か



オラッ！！

グキョッ
ギョッ

あはあッ♡

ギョッ



へえ…
そうかよ

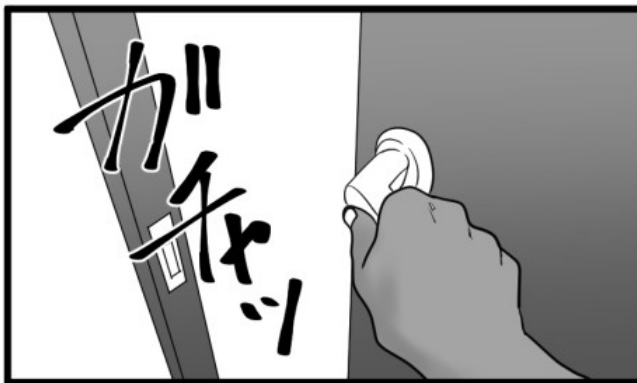
ヌルルル…

や…やめッ！！

くぽッ









ああッ!!

トサッ

カニッ

いやッ!
いやあッ!!

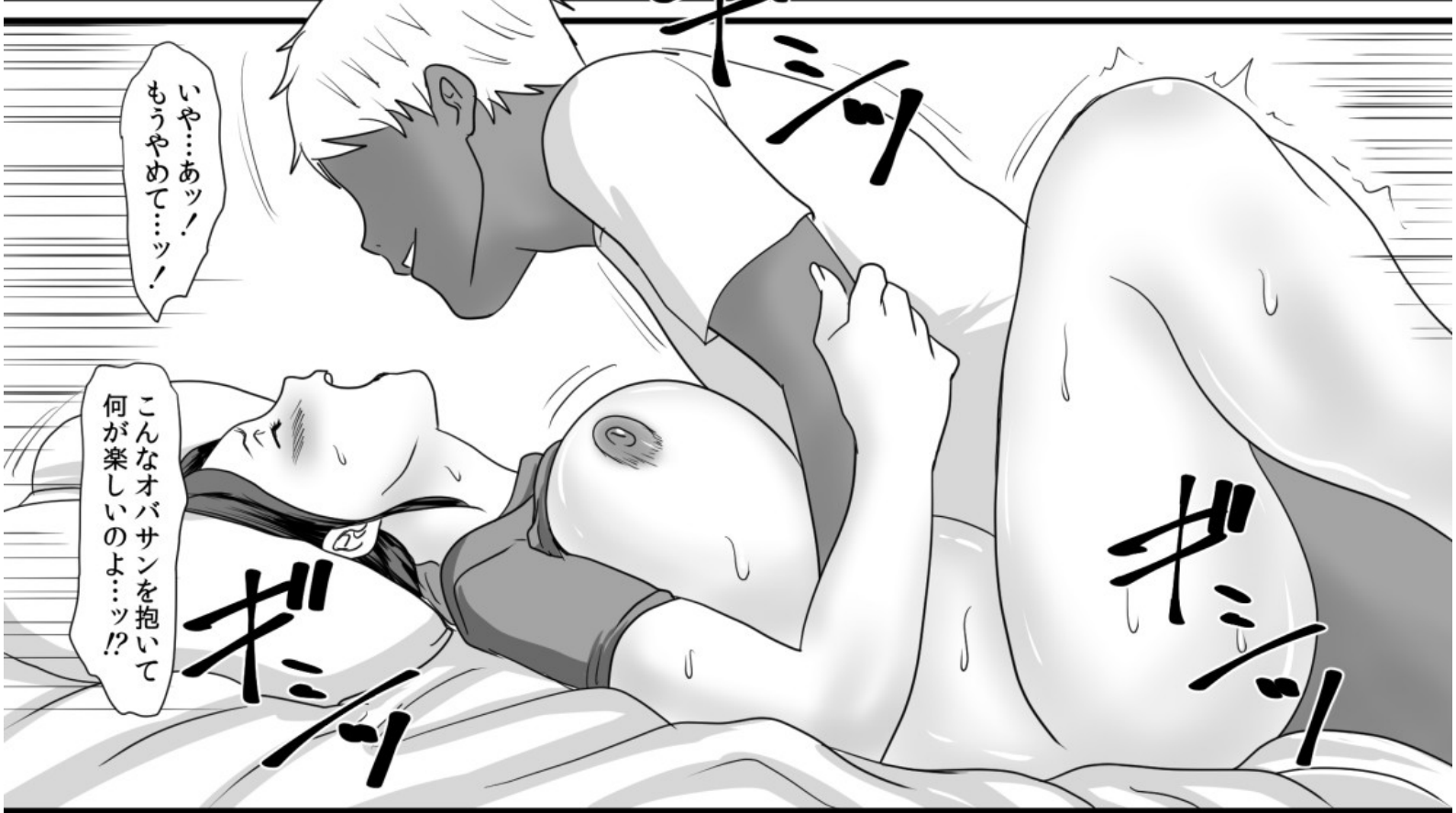
カニッ

カニッカニッ

貴博のベッドで
抱かないでえッ!!

するなら
私の部屋で…ッ!!

カニッ



いや...あッ!
もうやめて...ッ!

こんなオバサンを抱いて
何が楽しいのよ...ッ!?



さあね...
惚れてるから
かな...

え...?



この卑劣な行為に
愛があるだなんて...

私を翻弄するための
陰湿な嘘に決まってる...



だめ...
挿入されながらのキス...

弱い...

うん...♡

ん...♡



それなのに裕也君の言葉を...
気持ちを感じたい自分がいた...

ん...ふ...ッ

ちゅぽっ
ちゅぽっ



んうッ!

ん...ッ!

くちゅ
くちゅ

くちゅ
くちゅ



今さら小娘みたいなこと
言ってるじゃねえよオラッ

ここだろ？
ここがイイんだろ？

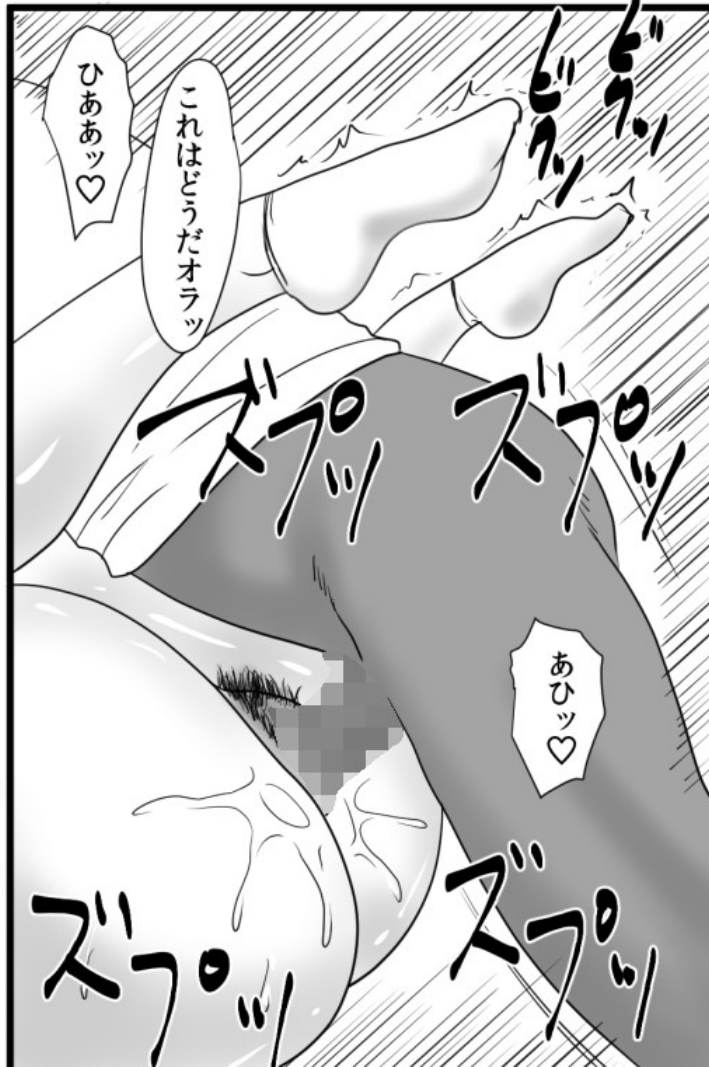
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり

あッあッ♡
あーッ♡

ダメッ♡
それダメエッ♡

あッあッ♡
あッあッ♡
あッあッ♡

息子の友人に呼び捨てにされながら
無遠慮に心と体をかき回される屈辱…
こんなこと絶対に許しちやいけないのに…



ひああッ♡

これはどうだオラッ

あひッ♡

ズゴッ
ズゴッ
ズゴッ
ズゴッ



あッ♡

大人の態度を取り繕う余裕など
私にはもうなかった…

はんッ♡

あッあッ♡

あッあッ♡

あッあッ♡

たぶッ
たぶッ



ダメダメメツ!!
腔内なかはダメメツ!!



ああヤベ...ッ
もうイキそ...

このまま射精だすぞ
登喜子のこッ!!

えッ!?
待ってダメメツ!!

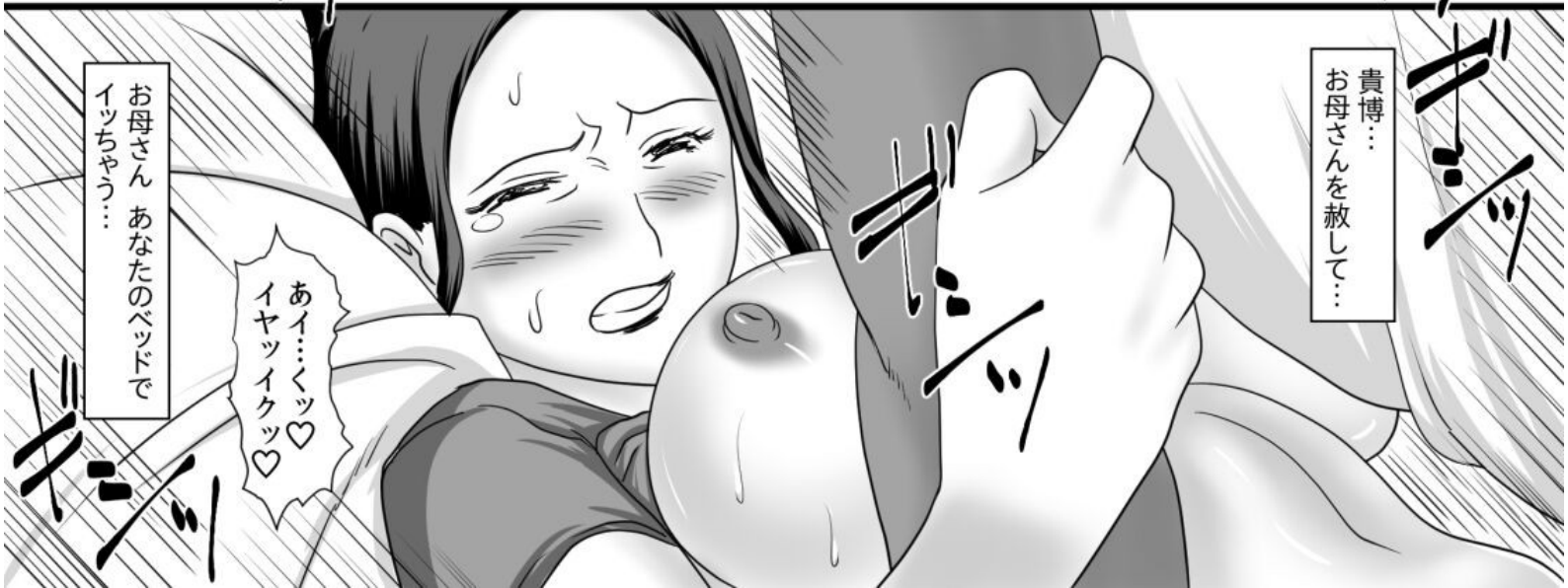


赤ちゃんできちやうッ!!

そんなの
墮ろせばいいって
そんな...ッ

イクぞ
登喜子のこッ!!

そ...とッ!
外にイッ!!



貴博...
お母さんを赦して...

あい...くッ♡
イヤッイクッ♡

お母さん あなたのベッドで
イッちやう...

ヒッヒッ
アッ
アッ
アッ
アッ

ガッガッ

ああ

♡

裕也君に種付けされちゃうッ!!

熱...♡

ヒッヒッ

ヒッヒッ

ヒッヒッ



もつとケツ
上げろよ

一度 膣内射精と同時に
絶頂を極めてしまったら
もう拒めない…

……

心も体も征服された私は
裕也君に命じられるがまま
挿入しやすいように
お尻を高く突き出していた…

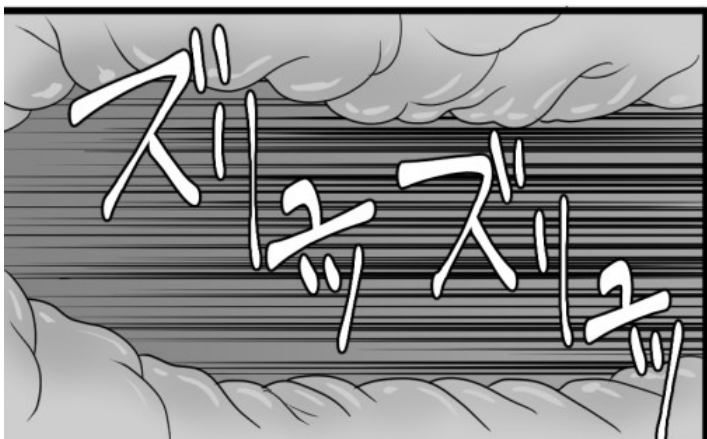


ヤッ♡

あぁ♡

ハッ
ゴッ
ゴッ

ヌ
ッ
ヌ
ッ



ズ
ッ
ズ
ッ



はぁん♡

ハッ
ゴッ
ゴッ

ズ
ッ
ズ
ッ
ズ
ッ
ズ
ッ

四つん這いにさせておいて
お尻の穴に指を入れながら
激しくペニスを打ち込む…

あくッ♡

やはあッ♡

それはセックスというよりも
むしろ『しつけ』と形容するのが
正しかった…



どうすれば女を屈服させられるかを
熟知したやり口
まんまとハマってしまった私は…

ん…♡

ふ…♡

んうッ♡

自分から舌を絡ませにいき
裕也君に服従を示した…

んうッ♡

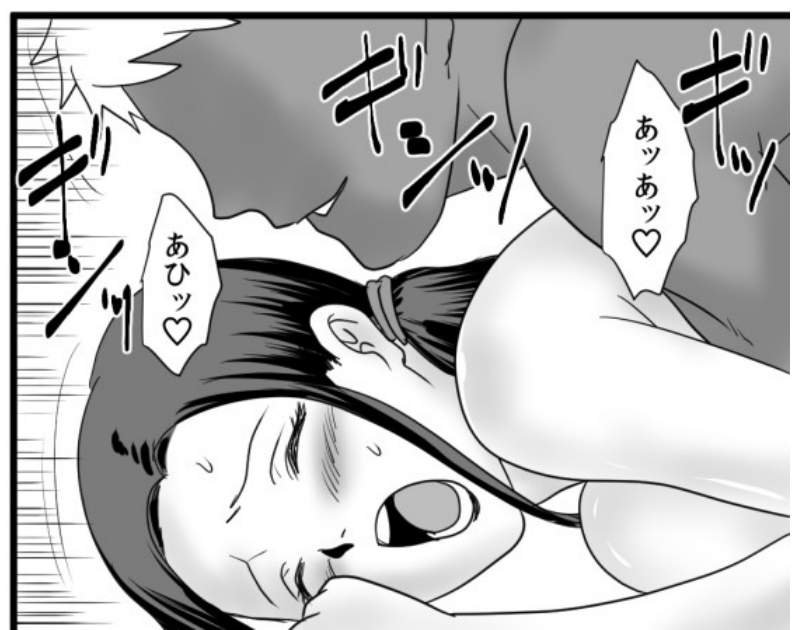


はあ…♡



んうッ♡

んうッ♡







本当に貴博と同じ年なのかと
思うほどの経験豊富さと逞しさに…



私は息子の友人の名を
甘えた声で呼びながら
二度目の絶頂を迎えた…

こんなひっくり返ったカエルのような恰好で裕也君を受け入れていているのをあの子に見つかったら…

ん…ふッ♡

あ…ッ♡

あ…ッ♡

は…んッ♡

それを想像した途端に私は信じられないほどの快感を覚えあの子が帰ってくるギリギリの時間までベッドのシーツにセックスのシミをつける…

ゴ…ッ♡

ゴ…ッ♡

本当に最低な母親…

ふ…ッ♡

ん…ッ♡

はあッ♡

あッ♡

ズ…ッ♡

ズ…ッ♡

ズ…ッ♡

しかしそんな罪悪感も自己嫌悪も裕也君が射精に向けてより強い挿入を始めるのとたちまち消し飛んだ…

あッあッ♡
あッあッ♡

あ—ッ♡

イクイクッ♡
イクイクッ♡

ズ…ッ♡

ズ…ッ♡

ズ…ッ♡

ズ…ッ♡

ズ…ッ♡

妊娠の恐怖も忘れて裕也君の腰を両足で
挟み込み自分から膣内射精を受け入れた：

ヒクッ

イクうツ♡

ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ

ヒクッ

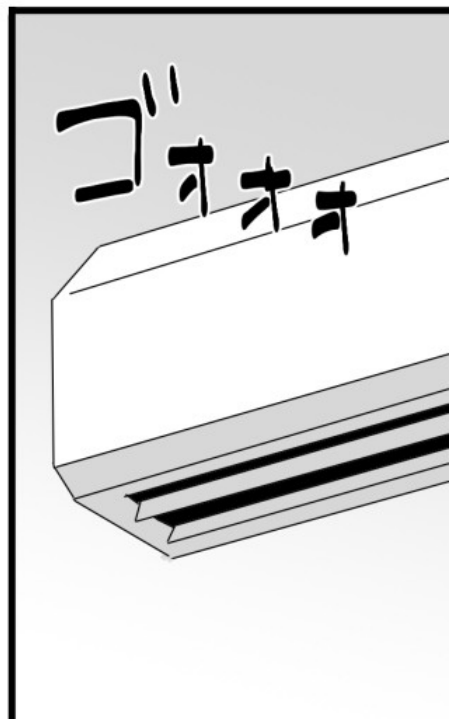
ヒクッ



ヒクッ

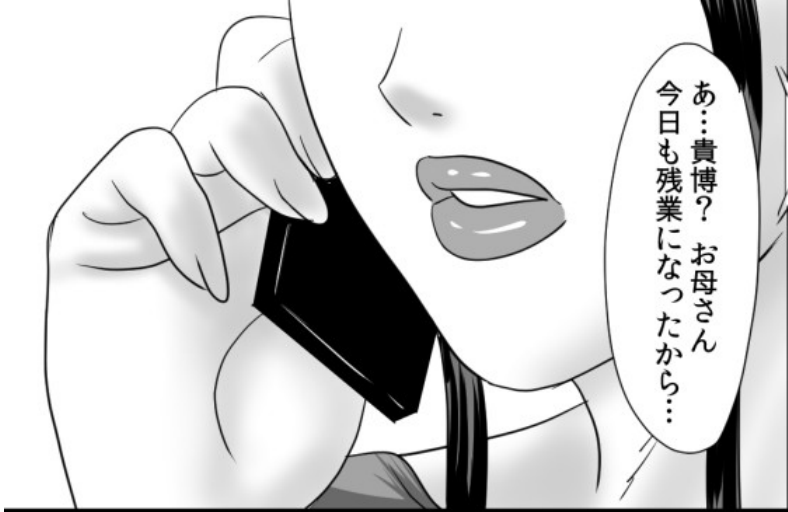


ヒクッ



ゴッ





いつの間にか私は最愛の息子を欺いて目の前に差し出された裕也君のペニスを躊躇いなく頬張る女になっていた…



チホッ
チホッ
チホッ

んッ

んッ

んッ

フッ
フッ
フッ



そして硬くなったペニスが膣奥まで挿入するように自分で両足を抱え込む女に…

はうッ♡

ズクッ

ズクッ

ズクッ

あんッ♡


あッ♡

あッ♡

あッ♡

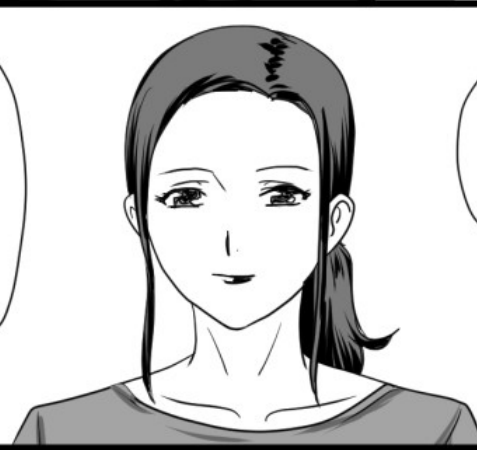
ズクッ

ズクッ



じゃあ図書館
行ってくるから…

今日はちょっと長めに
勉強するから
帰りは遅くなるよ…



貴博…
お母さんね…


そう…

気を付けてね…

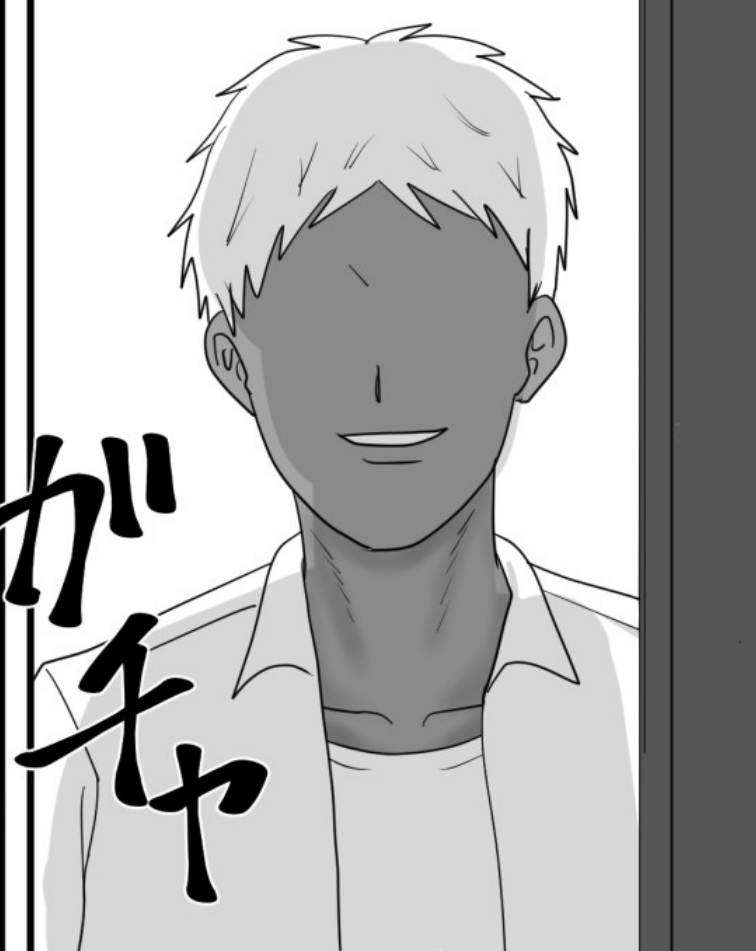
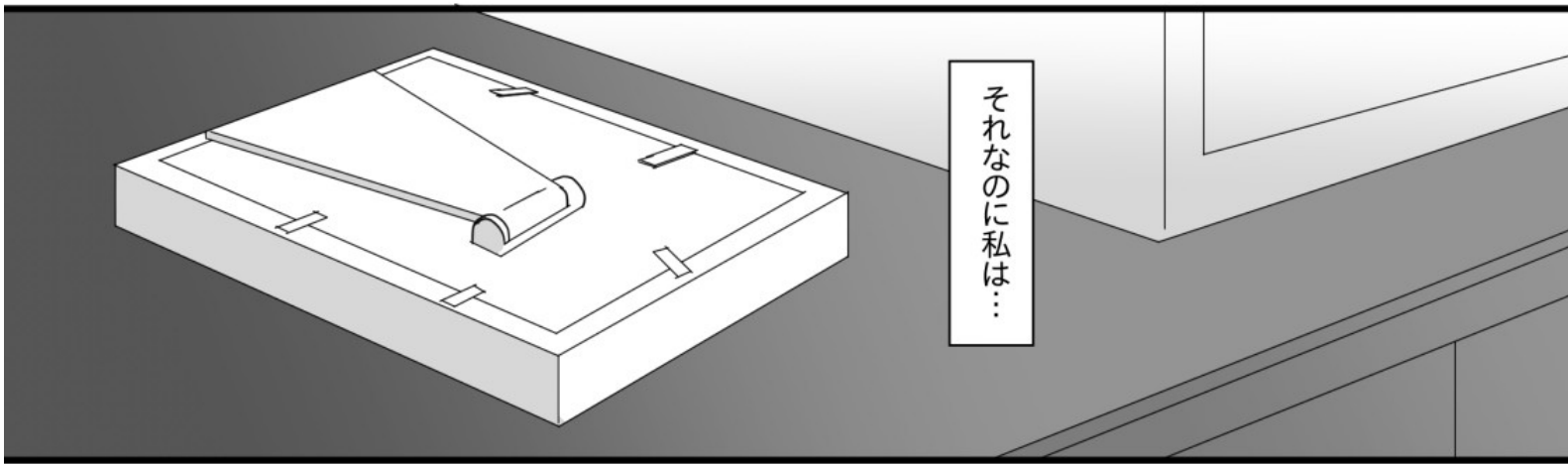
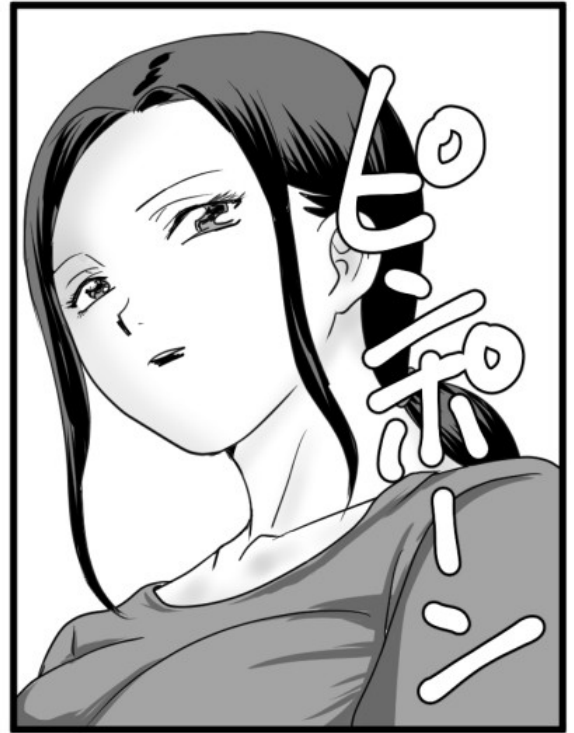
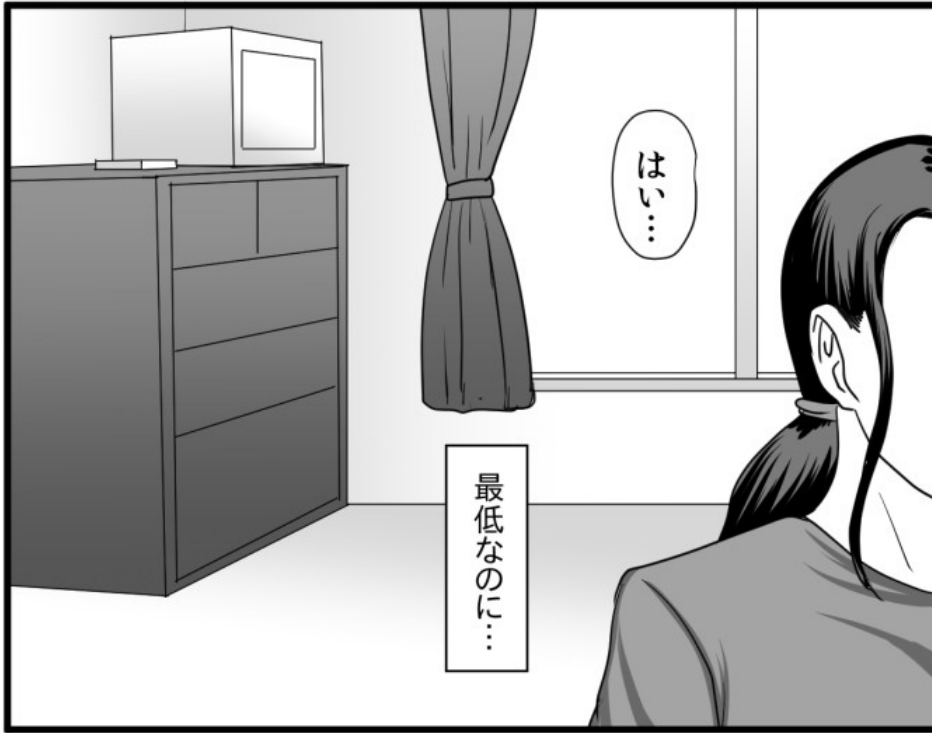
この前 裕也君に
言われたの…



最低でしょ…?



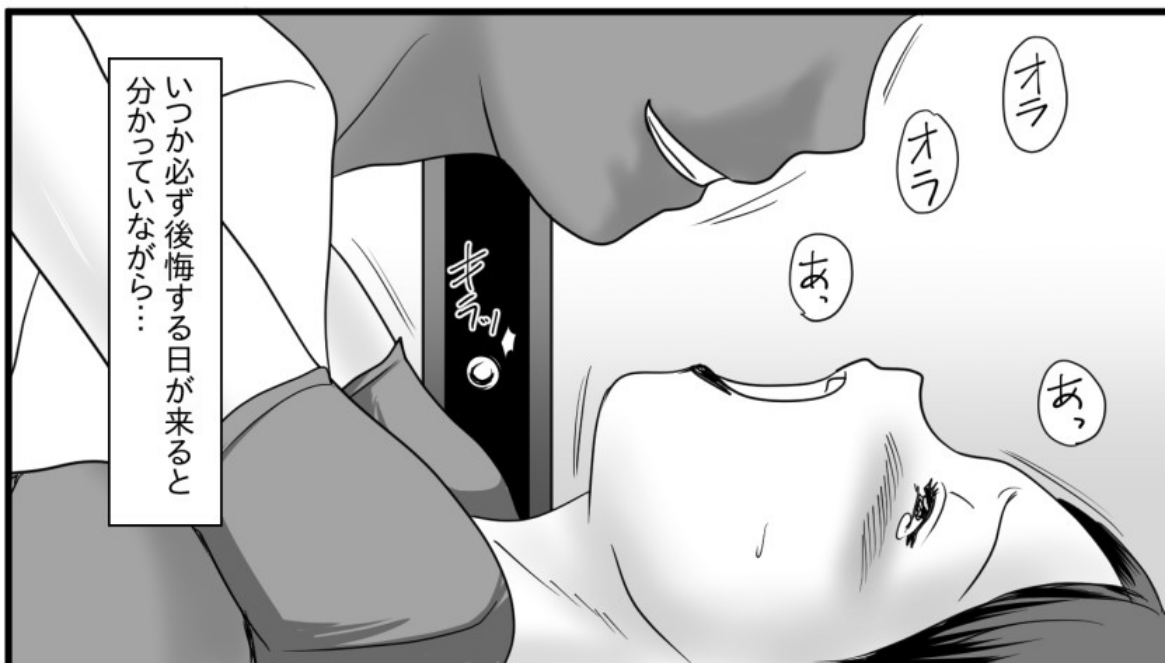
あなたと暮らすこの部屋はお母さんを抱く
ラブホテル代わりにちようどいいんだって…



それどころか…私の体を食べるために
あの子が出かけるのを見計らって訪れて来る
彼を待ち遠しいと思うまでになっていた…



それがどんな結果を招くのか…



いつか必ず後悔する日が来ると
分かっているながら…

ただいま…



やっぱりシャワーを浴びてる…
僕が出かけた日は必ずそうだ…

母さんが泣いていたあの夜から
何かがおかしかった…



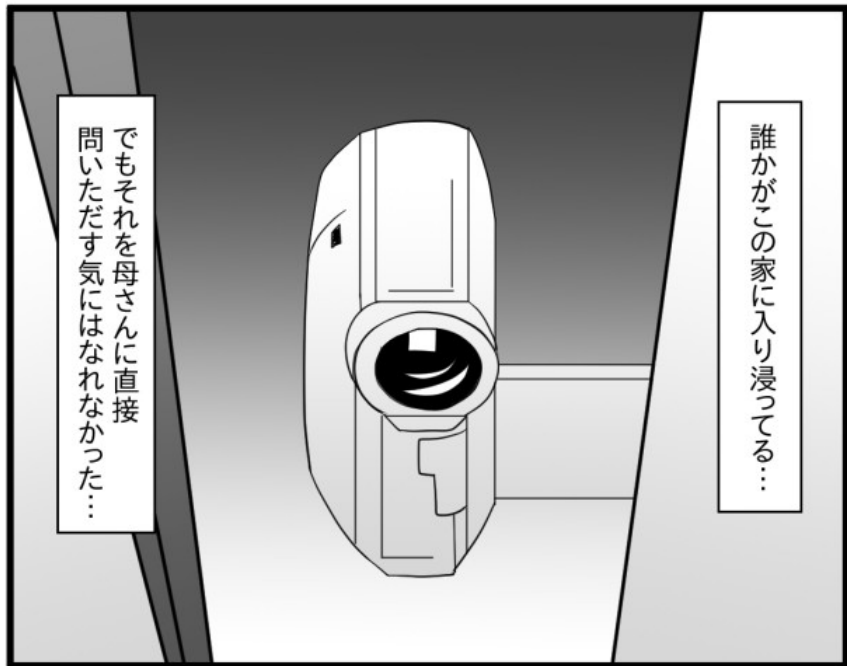
人手不足で仕事が忙しいからと
やたら残業で帰りが遅くなったり…

大嫌いだと言っていたタバコの
吸い殻が捨ててあったこともあった…



誰かがこの家に入り浸ってる…

でもそれを母さんに直接
問いたただす気にはなれなかった…



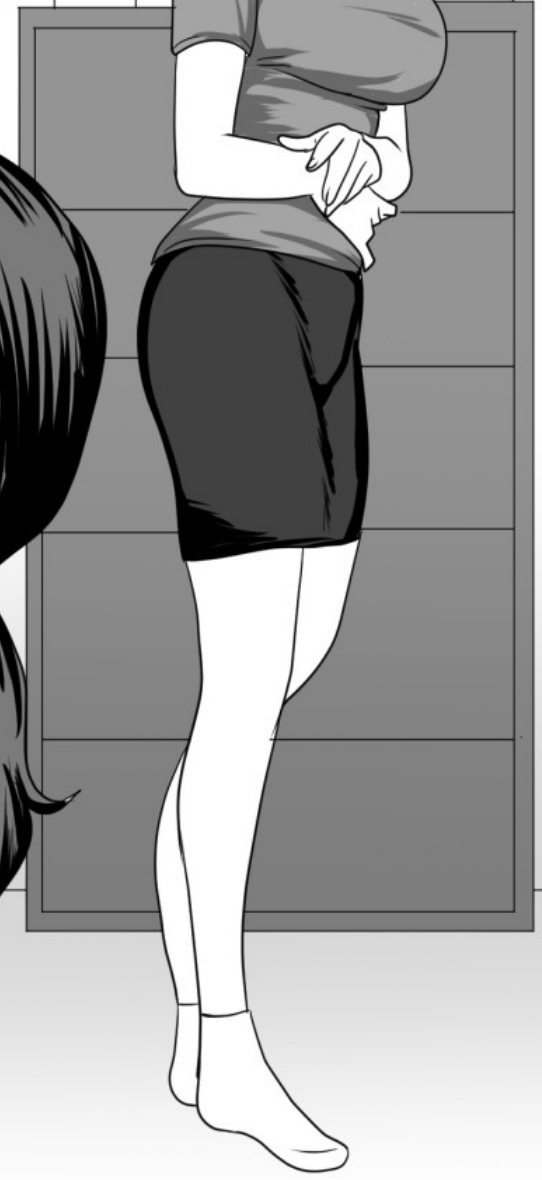
それを聞いてしまったら
何かが終わってしまうような
気がしたからだ…

それでも確かめずには
いられなかった…





相手がまさか裕也だなんて
思ってもみなかった...



毛嫌いしてたはずなのに
なんで...

んう...♡

まるで恋人同士がするようなキスを終えると
母さんはそうするのが当たり前のように
裕也の足元に跪いて啜え始めた…

タバコ吸ってた俺に
説教したお婆さんが
今じゃ俺のチンコ
吸ってんだから
笑っちゃまうよな

ヒョキッ

はあ…

ハッ
ググ

キュッ

いじわる言わないで…
こんな立派なペニスで征服されたら
どんな女だって服従しちゃうわよ…

母さん…?

あの母さんが
こないやらしいことを
言うはずがない…ッ

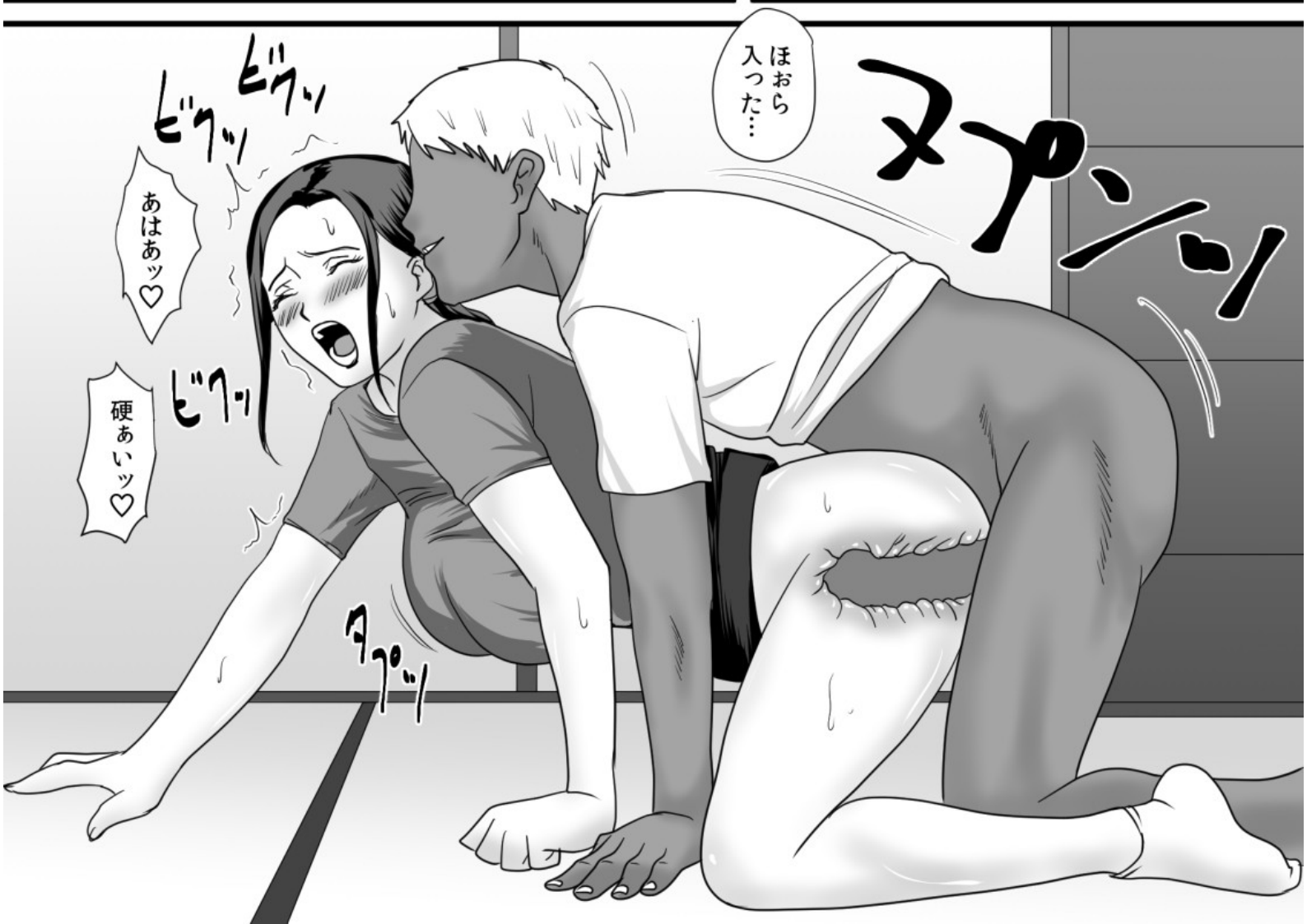
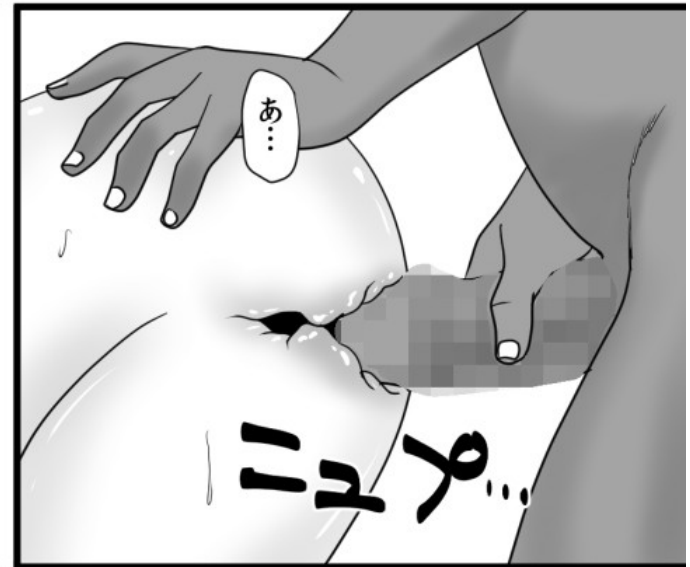
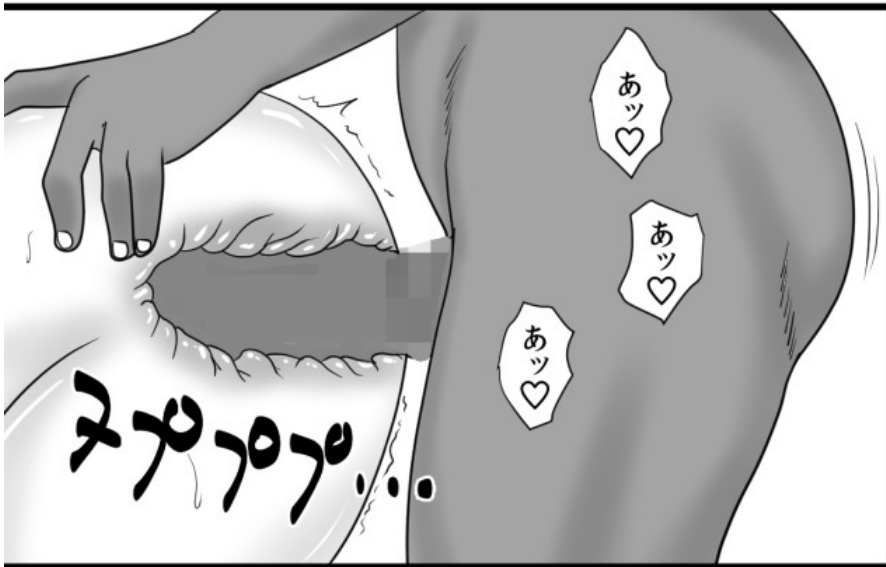
ん…♡
キュッ
ググ

きっと裕也に弱みか
何かを握られて…

ググ
ググ
ん…♡
ググ
ググ

フッ…

!!

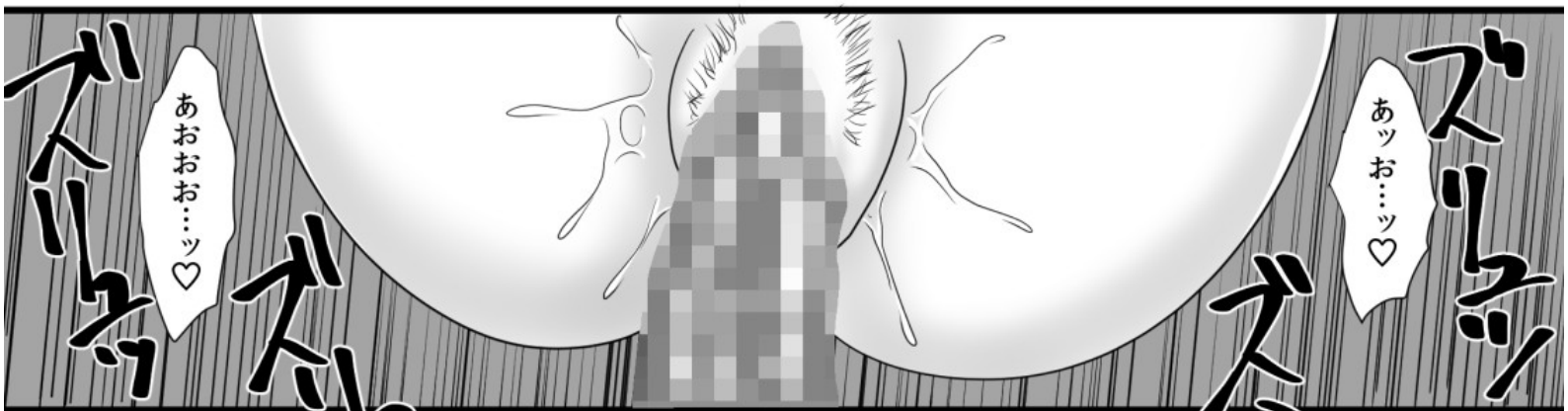




や…ッ♡
あッ♡
すこおッ♡

奥の気持ちイイ所に
すこい当たるの♡

脅されて仕方なくとかじゃなかった…
そこには犬のような格好で裕也のモノを
受け入れて悦ぶ女の顔をした
母さんの姿が映し出されていた…



あッお…♡

あおお…♡



裕也のモノが入り出すたびに
母さんのアソコは湿った音を立てる…

はッは♡

あッ♡

はあん♡

あの母さんがあんな蕩けた表情や
甘えた声を出すなんて…
何度も裕也に抱かれて開発されてしまったのか…



あうッ♡

あうッ♡

あうッ♡

あうッ♡

普段の母さんからは想像も出来ないような
はしたない姿勢で裕也に跨り夢中で腰を
打ちつけて気持ちヨガル…



フッ
フッ
フッ

あッ♡
あッ♡

イイッ♡

母さんがこんなに淫らな女性だったなんて
知らなかった…知りたくなかった…



息子の友達相手に気分出しやがってドスケベ女が...

俺との関係が貴博にバレて別れるなんて言われたらどうすんだ?え?

あ...あッ
そんな...ッ

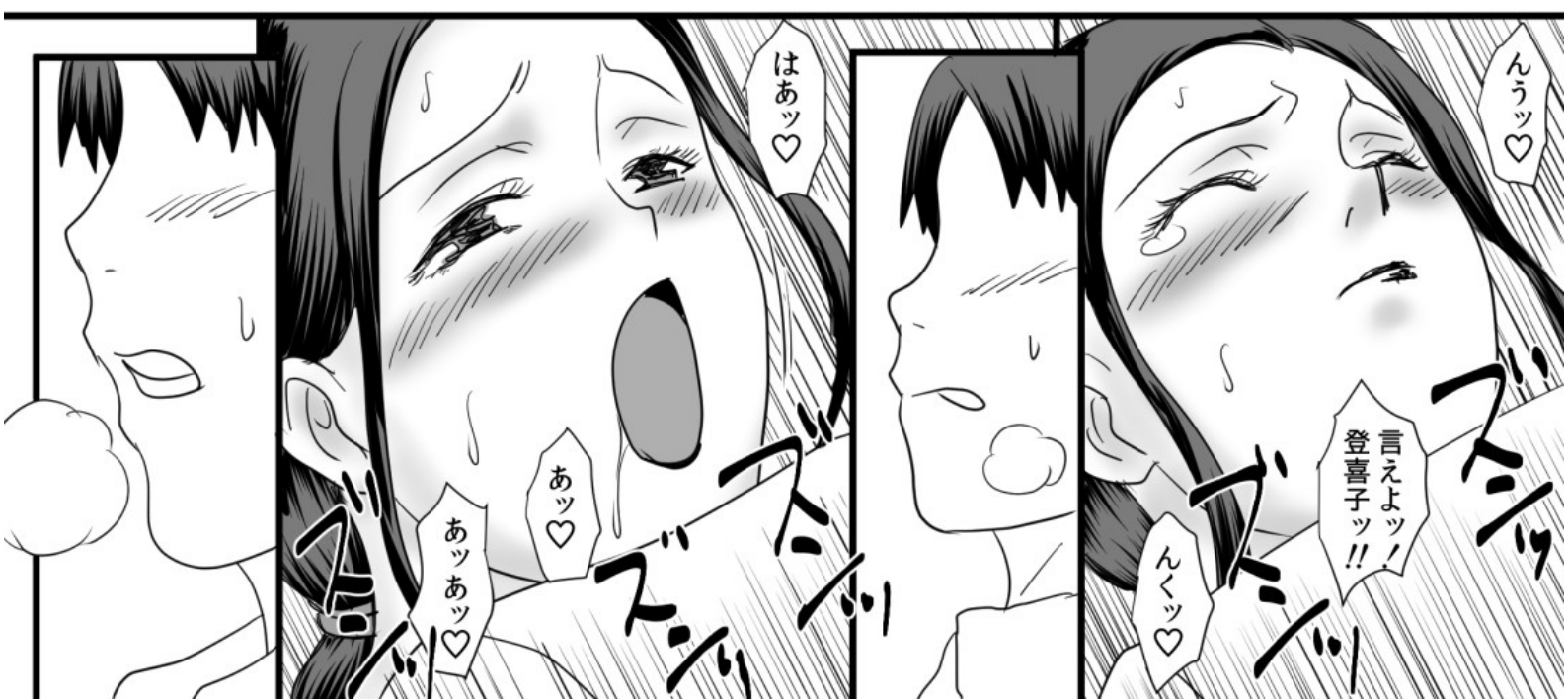


俺と貴博のどっちを選ぶかって聞いてんだオラッ!!

ひあッ♡

あッ♡♡
あッ♡♡

かっ
かっ



言えよッ!
登喜子ッ!!

んうッ♡

んくッ♡

はあッ♡

あッ♡

あッあッ♡

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

貴博を捨てて
裕也君の女として
生きますッ♡

裕也君を選びますッ♡



イク——ッ♡

裕也くうんッ♡

あッあッ♡



二人の関係がバレたら
僕を捨てる…

フワ…
母さんは本気で
言ったんだらうか…



裕也に抱かれて
激しく乱れる母の姿を
見た興奮で硬くなっていた…

気がついたら僕の股間は
この世で一番大切な母を
裕也に奪われた悔しさと…



裕也と同じように
このカラダに聞けばいいんだ…



それを確かめる方法はひとつだけ…